京城日報

十月十二日夕刊（朝夕併せて八頁）

本紙定價 [illegible]
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五號同[illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 [illegible]

◇僞善を暴露せずに回答し得る何物も無し
―獨逸返答如何―

華盛頓來電＝獨逸の休戰提議に對する米國大統領ウ井ルソン氏の回答の眞意義の如何なるものなりしかは該回答の以前ウ井ルソン氏が嘗て爲したる宣言と綜合して熟讀し且つ米國が未だ中立國たりし時に於て初めて是を了解することを得べし而して伯林政府がウ井ルソン氏の通牒に掲載せる三箇條の質問に對して返答せんと試むる時世界は茲にウ井ルソン氏が如何に獨逸の僞善的講和運動を打壞せるかを知るに足るべき十分なる理由あり獨逸政府は中立諸國並に獨逸國民の爲めに全く其屈辱を自白するか若くは獨逸／講和提議の何等誠意に出でたるものに非ざる事を暴露せずにウ井ルソン氏に對して返答し得る何物をも有せざるべし（東京特電）

◇米紙講和評一致

米國內の諸新聞はウ井ルソン大統領の回答を以て獨逸をして外交的窮地に陷らしむるものとし又同回答は無條件降伏を要求したるに等しと謂ふに一致せり（倫敦電報）

◇獨紙の講和評

十一日某所着電＝十月八日の北獨日報は左の記事を掲げたり（東京特電）

ケルニッシエ、ツアイツング（獨紙）は多數派の政綱と米國大統領の宣言との間に相違の點ありとの說を爲し居るも、獨逸政府及び議會多數派は同大統領の綱領を以て平和の基礎とし除外又は制限無く之を承認するものなり各國民聯合の設立に關する問題は過般來外務省に於て調査並に學者間に於て研究中なりしが既に成案を見るに至り更に各提案作成の爲外務省に於て朝野各方面の委員より成る會議開かる可し

◇英外交團大統領回答評

英國に於ける外交團は米國大統領の回答を以て賢明にして論理的なりと評し居れり（倫敦電報）

◇墺講和覺書到達

墺國が提示せる瑞西國の講和覺書は西班牙外務省を經て十日夜我外務省に到達せり（東京特電）

◇土國內閣總辭職

十一日某所着電＝土耳其タラートパシャ內閣員は全部辭表を捧呈したるも皇帝は之を聽許せず（東京特電）

◇過激派政府顚覆計畫
獨立憲民主黨首領政府と交涉中

斯德堡來電＝信賴すべき筋よりの報道なりとして傳へらるる所に依れば獨逸は近々露國過激派政府を倒し立憲民主黨政府を以て是に代へんことを計畫しつつあり著名なる立憲民主黨首領ミリユーコフは目下伯林に於て新獨逸政府と交涉中なりと尙ほ新獨逸政府は過激派に對し敵對態度を執る筈なり（東京特電）

◇獨海軍要部異動

伯林公報に曰く海軍中將エドアルド、フオン、チツヒレルは海相に任ぜられ海軍大佐レオプラインはチツヒレルの後を襲うて潛航艇部長に任ぜられたり（アムステルダム電報）

◇支那軍隊の懇切

黑河より歸來せし某氏の談に曰く支那黑河道尹並に該地の支那軍隊は我瑞橋枝隊に對し好感を有し日支軍の間極めて圓滿なり尙ほ張巡閱使孟督軍鮑督軍等の日本軍隊に對する態度は極めて懇切にして諸般の要務圓滿に進捗しつつあり（哈爾賓電報）

◇總統就任式擧行

徐世昌氏の大總統就任式は既報の如く十日擧行されたり當日北京城內は殷盛を極め民衆擧つて新總統の前途を祝福せり（北京特電）

◇閣員暫時留任

議會方面に對する手續完了迄北京內閣員は全部留任に決し交通次長は曾毓雋氏に決定せり（北京特電）

◇定例閣議開會

十一日の定例閣議は午前十時より永田町首相官邸に於て開會原首相以下各大臣全部出席明年度豫算方針其他に就て協議し續いて人事一件（關東都督府所管）を決定したる後散會原首相及び閣僚一同及び橫田法制局長官高橋翰長等打揃ひて東京商業會議所の午餐會に列席したり（東京特電）

◇內田外相參內

內田外相は十一日午前十一時三十分參內 天皇陛下に拜謁仰付けられ外交上重要案件に就き奏上する所あり退出後首相官邸に於ける閣議に列席したり（東京特電）

◇辭令

十一日左の通り辭令ありたり（東京特電）

鐵道院共濟組合評議會議長を命ず　法制局長官　橫田千之助

鐵道共濟組合評議會委員を命ず　鐵道院理事　永井亨／同　中川正左／同參事　岡田意一／各通　同　福富正雄

◇理財局長後任

大藏省理財局長の後任には今村財務官森銀行局長の中孰れにか決定すべしと（東京特電）

◇木造船續成不良

最近木造船の近海航路に供せらるゝもの漸く多く就中二千噸內外のもの、新造著しく增加したるが是等木造船は成績概して不良にして一航海毎に入渠修理を要し到底長期の航海に耐へず船齡の如きも五六年を出でずして廢船となるの外無きより船舶金融業者も木造船に對しては絕對に金融を拒否する狀況なるを以て當業者は頗る狼狽の模樣なりと（東京特電）

◇東京株式引値

十一日の東京株式先物後場引値は東株百七十圓二十錢新株百三十六圓六十錢鐘紡新二百四十圓五十錢郵船株百八十八圓九十錢滿鐵新株九十八圓東拓株七十六圓五十錢なり（東京特電）

◇東京期米保合

十一日の東京期米市場は高値三十二圓八十一錢安値三十二圓五十錢大引三十二圓五十錢なり（東京特電）

◇上旬對鮮貿易

十月上旬對鮮貿易は移出四百九十二萬五千圓移入四百二萬一千圓差引九十萬四千圓の移出超過を示せるが本年一月以降の累計は移出八千六百五十六萬三千圓移入八千九百四十四萬三千圓なり（東京特電）

◇佛國商議設置

橫濱に佛國商業會議所設置の件は日本政府に申請中の所此程認可の指令に接したる旨在東京佛國大使ドラネー氏名譽會頭となれり（東京特電）

◇政務總監著京

山縣政務總監は十一日午後一時五十分東京驛著の列車にて入京したり（東京特電）

◇高島中將通過

愛知縣下に於る陣地攻防演習參觀の爲め出張中なりし高島第十九師團長は大沼副官を隨へ十二日朝釜山上陸午前十時半發列車にて北行せり（釜山特電）

◇財務主任會議

十二日馬山府廳に於て二府七郡の財務主任會議を開き橫井慶南第二部長臨席せり（馬山特電）

◎仁川築港竣工式
二十七日擧行

仁川築港竣工式は二十七日同築港內に於て擧行さるべく當日は長谷川總督以下各部長官局長其他參列し京仁官民約七百名を招待し盛大に擧行さるゝ由なるが擧式次第左の如し

▲爆竹（午前十時三十分）▲修祓（祭官參列）▲爆竹▲式場參列（午前十一時）▲開場挨拶（土木局）▲工事報告（仁川出張所長）▲來賓祝辭（總督）▲玉串を捧ぐ▲爆竹▲入渠式▲爆竹▲宴會開始（十二時三十分）▲陛下萬歲（隨員退散）

當日は京城龍山よりの來賓に對し無料臨時列車を仕立午前十時南大門驛發同十一時式場著、歸路は午後二時半式場發三時半南大門著の豫定なり右臨時列車の乘車券は招待狀を以て之に代ふる事となり居れり尙仁川府廳にては當日築港區域外に於て大祝賀會を催し參列の官民を招待する筈なり

◎全國水道會議

第十五回全國水道會議は本年十一月中旬熊本市に於て開催の事に決定し朝鮮總督府よりは右會議參列の爲め總督府土木局事務官[illegible]、京畿道水道係技手樋下田謙吉郎、同秋田金治の三氏出席すべく尙二三の提案ある筈なり

◎遞信判任增員

遞信局に臨時事務を管掌すべき職員增置の件は三四日前の閣議を通過したるを以て不日勅令にて公布實施さるべきが該增置職員は軍隊の西伯利亞出兵と共に軍事通信上の用務激增し京城郵便局の如き到底現在の定員にては不足を感ずるに付判任官廿八名の臨時增員をなさんとするにあり從つて增員判任官は殆んど全部京城郵便局に配屬し電氣通信に從事せしむべしと

◎候補生試驗地
朝鮮では三ケ所

大正八年に召集すべき陸軍士官候補生及陸軍主計候補生の豫定人員は士官候補生二百廿一人主計候補生八十人なるが明治三十一年四月二日より三十五年四月一日までの出生者にして規定の資格を有する志願者は明年四月四日以降採用試驗を施行すべく朝鮮にては羅南龍山京城の三地にて執行する由に付大正八年一月十日までに本籍地の市町村長を經由して陸軍大臣に出願すべし

◎新內閣の外交方針
外務大臣　內田康哉子談

歷代外相の從來屢聲明せる所は茲に之を再說するの要なし唯帝國外交の根本方針は夙に確立し內閣更迭の爲帝國の友邦及び敵國に對する政策に▲何等の變更を來すものにあらざることを一言するに止めんとす吾人は責任ある國民として現下の國際政局に對する責任を負擔するに當り大勢の趨勢を最も明確に諒解することを肝要とす最近合衆國大統領の演說は吾人に深甚なる印象を與へたり合衆國が一度干戈を執つて起つや擧國其の心を一にし崇高なる目的の爲めに與國の難に赴くの狀は寔に敬服に堪へず大統領が凡そ目的及び旨意に關し完全なる一致ありて始めて能く最終の戰捷を期待し得べしとせる斷案は刻下の至難なる時局に處するの第一要諦たりと信ず惟ふに國際聯盟は其の各國相互間に目的及び旨意に關して▲完全なる一致あるこ[illegible]共に誠實の念に於て亦完全なる一致あることを要す之なくんば到底國際聯盟の存立を期すべからず即ち斯の如き聯盟の行動を一貫して之を指導すべき規範は彼の泰西に於ける紳士道、東洋に於ける武士道たらざるべからず不信と猜疑とは之を聯盟の埓外に除斥し去らざるべからず帝國は常に其の列國と共通の目的の達成を期し何時にても其任務の相當なる負擔を頒つに躊躇せざるものにして帝國が常に其の外交政策の樞軸と認むる日英同盟に對する如く今次戰爭の勃發せる大同盟に對しても亦渝らざる忠誠なるは言明及び實蹟の共に顯然證する所なり聯合國は今や一大危機に瀕せる▲露國の崩壞を防がむとする共同義務の觀念に依りて益結束を堅くするに至れり元來露國は背信の國に非ず其從來の赫々たる名聲を破壞せむとするが如き企圖を爲すものありたるの故を以て直ちに露國を背信者と認むるは固より不可なり穩健誠實なる國民は必ずや其祖先傳來の國家を恢復すべく之が爲には所謂目的及び旨意の一致に依り露國を支援せざるべからず支那の情形は著しく改善せられたり吾人は同國に於て各省を乖離せる紛爭の解決に至らむことを翹望す支那に於る統一政府の▲樹立及秩序の恢復は支那自國を除いては帝國が他の何れの國よりも最も緊切なる利害を感ずる所なり吾人は現戰爭に共同從事せる各國との國交が益々緊密を加ふるに至れるを慶ぶ今次の戰爭が聯合國軍隊及び國民の顯著なる勇氣と犧牲とに依り遂行せられ殊に佛白伊諸國民が敵の侵略に際して堅忍不撓の精神を發揮せるは日本國民の各階級を通じ感嘆措かざる所なり過去四年間に於ける聯合國の剛忍と功業とは今や光榮ある終局を迎へむとしつゝあり吾人は現戰爭の成果を信賴すると同時に於て終始渝はる所なし之と同時に聯合國の國交は益々敦厚を加へ▲且帝國の目的が益々列國の了解を得るに至りたるを見て深く欣快に堪へざるなり（東京支局）

◎下水工事著手期

京城府廳に於る下水工事經過は既報の如くなるが愈豫算變更の件並に同工事著手期等の決定を見るに至り茲旬日を出ずして公表を見るべしと

◎持地長官用向

遞信局長官持地六三郎氏は十四日午前九時五十分南大門驛發列車にて南北滿洲並に支那本土に出張する事となりしが往復三十六日間の豫定にて旅順大連に於ては關東都督府遞信當局と協議を要する案件あり哈爾賓にては軍事通信上の要務を帶び支那本土に入つて支那の通信狀態その他を視察する由なり

◎村田武官出張

總督府附武官村田信乃少將は十一日附往復四日間の豫定を以て軍隊視察の爲

◆朝鮮產鑛物の米國輸出繼續策
米國の禁輸は絕對困難ならず＝當業者の猛省を促す＝アーレン氏談

昨年來黑鉛タングステン水鉛等朝鮮產の特種鑛物は米國輸出の途を殆んど閉されて價格暴落斯業者は何れも▲困難な狀態に陷つてゐる、乃ちタングステン水鉛等は辛うじて命脈を續くるに留まり黑鉛の如きは西鮮方面より東拓に救濟資金調達の運動さへ起つた位であるがその原因に付特種鑛物の取扱ひ者たるアーレン商會主の談に曰く朝鮮に於ける水鉛黑鉛滿俺重石の產出は世界の屈指と稱して可なりである然るに昨年來米國輸出が何故に漸次困難となつたか

各鑛物共相當量の輸入特許は米政府より得られるのであるが殆んど輸出不能の狀態にあるは何故かと云ふに理由は頗る簡單である乃ち朝鮮の▲特種鑛物の生產に從事する人々がその賣買契約を確守せぬため常に危險多く米國政府より特許を受け易き日本並に朝鮮の米國商人は殆んど朝鮮特種鑛物より手を引いて終つたからである、予は朝鮮の斯業者を惡口して快とするものでない然し乍ら朝鮮の將來に於ける特種鑛物の產出を增大しその米國輸出を永續せしめんとするならば信用ある取引を米國商館との間に結ばぬ限り望み難い事である、現在の如き有樣では實に朝鮮のために悲しむべしである、乃ち一例を擧ぐれば予が米國より若干の特種鑛物の註文を受けたとすればそれを聞知した▲仲買業者又は鑛山主は俄に價格を昂騰させ質に京城の相場が米國以上に昂騰する事は珍しくなくために取引不能となる事は少くない、又一度取引を契約しても現品の受渡しを要求すると直ちに高値を要求したり又他に聊かでも高價に買入れんとする者あれば既約を無視して他方に賣放すと云ふ事も珍らしくないのである、ために外國商館は不測の損失を蒙[illegible]或は契約の履行を[illegible]徒に爭ふに至る事もなきにあらずこれ從來朝鮮で特種鑛物を取扱つてゐた外國商館が漸次手を引くに至つた原因であつて正に▲誠實な取引をなさぬ鑛物ブローカー並に鑛產者が特種鑛物の米國輸出を止めたと云へるのである、乃で此の弊害を除去するには信用あり基礎ある鑛產業者若くは商店で之等の鑛物を取扱ひ鑛產者も生產費の幾倍と云ふ如き高値を吹かず眞面目に商取引を繼續して行く外はない、さすれば米國に對する輸出の途も開け外國の商館も又朝鮮に歸り來りてその輸出を取扱ふ事となるであらう又今日の狀態で續けば予等も支那方面に引揚げんかとの考へさへ有つてゐる

[illegible]の爲新義州義州平壤鎭南浦各地へ出張を命ぜられたり

◎鮮銀紐育派員

鮮銀神戶出張所長より本店勤務を命ぜられし藤谷太一氏は十日附紐育出張を命ぜられたるが同時に紐育派出中の安田弘氏は歸朝する事となれり

○波多野氏入京　大邱に下車したる三井合名會社理事波多野承五郎氏は十二日午後九時十分南大門驛著列車にて入京の旨三井物產支店に入電ありたり

○平壤高普生徒訪府　平壤高等普通學校生徒一行は十二日午前八時半職員引率の下に總督府に赴き上田視學官より一場の講話を聽取したる後府內を參觀せり

○咸興高普生徒訪府　咸興高等普通學校四年生一行三十三名は十二日同校職員引率の下に總督府に赴き府內參觀の後上田視學官より一場の講話を聽取したり

○福岡縣視察團動靜　既報の如く福岡縣青島滿鮮學事視察團一行二十九名は團長福岡女子師範學校長永渕伊三郎氏引率の下に十一日夜入京旅館に投宿したるが十二日午前總督府に赴き關屋學務局長弓削學務課長を訪問し入京の挨拶を爲したる後午前中高等普通學校附屬普通學校工業專門學校を參觀午後寄宿舍工業專門學校講堂に於て弓削學務課長より朝鮮教育に關する講演を聽取し夫れより昌慶苑を參觀したり

○岡山縣視察團歡迎會　岡山縣教育視察團一行の歡迎會は同縣人會の發起にて昨十一日午後五時より朝鮮ホテルに於いて開かれたるが主客合せて百餘名先づ記念の撮影を爲し了りて食堂を開きデザートコースに入り式の如き挨拶の交換あり終りて別室に於いて矢鍋永三郎氏の朝鮮貿易の話、工藤壯平氏の朝鮮歷史の話、釋尾旭邦氏の[illegible]に對する希望などの話あり九時過ぎ散會したり因に同視察團は十二日仁川に赴き即日歸城十三日出發北行奉天大連を經て青島に渡

……ら歸途は再び朝鮮を經由する筈也

◎忘機吟社例會

忘機吟社十月例會は來る十七日（神嘗祭）午後二時より光化門通明月館に於て開催の由なるが當日は會費を要せず課題は『明月簡小集』なりと

○高田中尉停職　龍山步兵第七十九聯隊第三大隊第三中隊小隊長中尉高田虎之助は軍人の體面を汚損せる行爲ありとし十月八日附停職仰せ附けられたり

人事消息

▲相羽砲兵中佐（鎭海灣重砲兵大隊長）十二日釜山上陸赴任

▲野口技師（土木局元山出張所長）十一日附四日間の豫定にて咸鏡南道管內へ出張を命ぜらる

▲佐藤修二氏（鑛務課技師）鑛業調査の爲め十日忠南管內へ出張

▲田尻生五氏（總督府事務官）黃海道外一道へ出張中十日歸任

▲關[illegible]官一行　十一日午後金剛山より歸京

▲井內勇氏（鮮銀調査局長）北滿に出張中の處一兩日中歸鮮の豫定なりしも哈爾賓に於て微恙あり歸期未定なり

茶前酒後

◆獨墺國の講和提議に對して、英國は例の奸策なりと解釋し、米國は無條件ならざるべからずと主張す。輿論既に斯の如し、獨墺が如何にして、其誠意を表はさんとするか、誠意なき講和は、遂に戰爭の繰返すと何等の間隔あらんや。

◆吾人は形勢の今日に至る迄の、經路を辿つて、戰績の跡を考ふるに、其處に或者を發見せざるを得ず。吾人は事實に於て、自信力の更に偉大なる力を有する事を、證見せざるを得ざる也。

◆聯軍今や四面凱歌を聞き、最後の勝利の曙光は、聯軍の兜の上に輝かんとす。然れども過去三四月の頃に於いて、獨軍の大攻勢は成功し、北部に於ては英軍大敗、南部に於ては、佛軍敗退し、西部戰線の聯軍は、今にも潰滅して、巴里既に危からんとせし際は、實に聯軍悲觀の頂上に達したる時なりき。此の時に於て、聯軍が一躍今日の如き、優勝の位置に立つべき、自信を有せし者果して幾人かありし。

◆フオシュ將軍が、形勢に鑑み、聯軍總司令官に擧げられた事は、實に此の時なりし也。當時英國の首相ロイド、ジョージ氏が、佛國にフオシュ將軍を訪問し、貴下は此の際、貴下とヒンデンブルグと孰れを取らんとするかと、奇妙なる質問を發せり。フオシュ將軍は、莞爾として、余は余を取るのみと、言下に答へぬ。

◆余は余を取るのみの一語、洵に千鈞の鼎の如し。將軍の胸中、此時既に、今日の好運を開き得べき最も強き自信を藏せしなるべし。陽氣の發する處、金石も亦透る。絕望の裡に希望を發見するもの、實に自信の力也。戰史は千古に、將軍の此美談を傳へん。

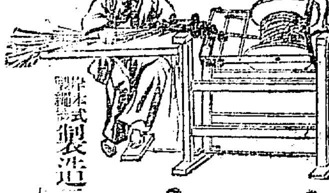
大小資本家へ望む
時代の要求は最も安全有利にして弊店信託部の公債株式賣買投資に限る
事實は弊店信託部の配當を見よ◎第一期に於て年拾割の配當をなせり、更に今期は成績良好なれば[illegible]
責任保證 安全確實放資機關なり
●出資一口金五拾圓也▲配當期二月、六月、十月▲詳細申込次第送呈
東京市日本橋區坂本町一四番地 電話浪花四八二・一六一八番 振替東京[illegible]
福崎株式店

●朝鮮土產新菓賣出し●
珍菓 金剛團子
電話 二十七・四七五番　京城本町　龜屋

謹啓先代有造在世中は一方ならぬ御引立に預り厚く御禮申上候今般亡父の名義を襲ぎ一層誠實勉勵可仕候間何卒先代同樣の御引立を蒙り度奉懇願候右御披露旁々御願申上候
大正七年十月
朝鮮木浦府本町三丁目二番地
穣改め　福田有造
營業所　木浦府海岸通一ノ九

公債々券所持者へ
我社は公債債券の信託を受け堅實なる利殖法に依り毎月多額の利益を割當てつゝあり
我社が如何に公債債券所持者に歡迎されつゝあるかは隆盛なる我社運の現況に見ても知られよ
僅少の利札に甘じ唯徒に證券を死藏するの愚や致富策の最も平凡事たり
公債債券所持者は須く我社を利用し所持證券の利殖を計られよ我社は斯業の元祖たり
合資會社　勸業債券信託社
大阪市北區堂島濱通り一丁目　電話北一五九〇番
▲規則書申込次第送呈す

各地博覽會共進會有功金牌受領
新案特許　岸本式製繩機



◎農家用漁業家用其他各種製繩に必適
●本機の完全無缺にして製繩の自由自在なるは既に當用家の賞讚せらるゝ所なり
●購買御希望の方は御一報次第說明書進呈
岸本式製繩機製造元　岸本商會
大阪北區富田町電車道角

土工用具並ニ建築金物
八角鋼、黑鋼用金物、眞鍮物製品
▲地方御注文は迅速に御便宜相計り可申候
商報御入用の節は御一報被下候はゞ直に御送附可申上候
直輸入商　京城本町一丁目　佐野彦藏商店
電話一六二三番・振替京城一二〇番

アレキセーフスキー ＝金谷從軍記者撮影

▽四人馬車に美しい花輪

過激派の暗殺から救はんとした同情者の爲に首尾好くブラゴエの監獄から逃れた

黒龍江州の代表者 アレキセーフスキー氏

十二師團從軍記者 金谷眞

黒河の軍が黒龍江を渡つて將にブラゴエに入らんとする九月十七日の夜であつた、ニキーチン中佐の率ゆる黒龍支隊及びガモフ大佐の率ゆる哥薩克兵の船に突如ブ市の前市長アレキセーフスキー氏が逃れて來た。露人は何れも『暗夜に燈火を得た!!! われ等の前途も光明に滿ちた』と歡呼の聲をあげた、此のアレキセーフスキーはブ市の政變を語るになくてはならぬ人物である、アレキセーフスキーは今や衆望を擔ふて黒龍政府の代表者となつた、而して過激派の首領モーヒンから奪つた黒龍江州の天下は

▽殆んど彼一人の手によつて

支配されつゝある九月二十日の黒龍江州全州合同會議の決議によつて既に府會なる臨時政府を樹立してアレキセーフスキーを代表者とすると滿場一致で決議した、全州の軍隊の指揮官には前參謀中佐ニキーチンが當り黒龍江哥薩克の統領にはガモフ大佐を推し州自治會よりはラヂオノフを以てその他ストラジエフロへの六名であつた—此の二人は初め過激派に反抗して起つたベセンチヤノアゼルスキーの州會代表者が出たのである—アレキセーフスキーは四十五六の男盛り

▽如何にして斯くまで人望が

あるかと云ふと彼は公明正大な人であるといふのが唯一の原因でこんどブラゴエ監獄より脫走したのは當日無政府黨が相謀つて脫獄する時自ら身を以て逃れたといへど平素から彼を過激派の暗殺から救はんとした同情者が手傳つたのだとも傳へられる、アレキセーフスキーは本年五月二十二日過激派の裁判によつて獄に投ぜられた、裁判の當日ブ市の人々は噂した『今日の裁判の主人公は判官に非ずし被告が主人公だ』と、なぜといふに此の日アレキセーフスキーは

▽堂々二時間に亘る演說を

試みた、彼は法廷に於て正規の訊問を了へると共に何か申立てる事はないかと問はれて滔々懸河の辯を振つた、彼は過激派の政策の誤れるを指摘し國民の多數は過激派を信頼せず彼等にして愬らずんば向後二三箇月にして倒壞せんのみ

◎初日の賣高十四萬圓

好景氣の書籍大賣市

東京書籍商組合の圖書大賣市は七日初日で午前八時半から神田表神保町の南明倶樂部に開かれた蓋開けと共に約六百の角帶連が雨の中を押し寄せたが中には朝鮮、臺灣、滿洲から來たのもある二階の階上は滅茶々々の雜沓振で白髮の老人が大童の活躍、小林委員は語る『初日から非常の好況で既に約十四萬圓の賣高を示した此外には五日間に昨年から十萬圓も突き出て優に三十五萬圓以上に達する事と思はれる如何なる種類の書が最も多く出るかは閉會後賣物取引の上でなければ分らないが讀書界一般の傾向から推しても工業物や文藝物が勢力を占め此外辭書類は依然買手が多からう(東京)

◎陸軍省宛の軍需品喪失

過般大西洋に於て獨逸潛航艇の雷擊を受け沈沒せる郵船平野丸には我陸軍省宛の若干の軍需品を積居りしが其全部は船と共に喪失せられたる旨其筋に情報ありたり(東京特電)

◎山寺に潛む

釜山府大廳洞金德九(二六)及び三浪郡生れ金鳳九(二七)は谷前科三四犯の曲者にして去る六日以來外二名と共謀し府管內數百軒に亘り鮮人向きの食器、反物、衣類及び現金を竊取し巧に之れを賣却し居たるを八月中旬釜山署の手にて連累者は逮捕されたるも前記二名は在所を晦まし九月上旬東萊郡北面山梵魚寺に潛伏中取押へられたり

◎米騷動 何れも有罪 結審

帝都に於ける先般の米騷擾事件被害の一部なる小學校敎員山本清外九十三名の豫審は十一日終結何れも有罪と決し東京地方裁判所の公判に附せらる(東京特電)

◎奥村代議士 有罪

愛知縣選出代議士橫濱燃料株式會社專務取締役奥村三樹之助氏外八名の瀆職事件は橫濱地方裁判所にて十一日結審恐く有罪と決定せり因に奥村は二回に八萬圓を橫領せるものなり(橫濱電報)

◇癈兵より航空隊へ

二百五十五圓の獻金は愛國の至誠を籠たる私共の血滴に候

熱し易く冷め易きは人情とはいへ癈に名譽の負傷をして癈疾不具の身になつてゐる癈兵等に對する世人の同情心の發露等に關しては遺憾の點が無いでもないのは困つたことであるが癈兵の身にとつては身こそ不具とはいへども報公の念益々旺んに現に大阪保樂院長後藤猛太郎氏を通じて癈兵四十餘名は我航空隊に金二百五十五圓を獻金した左記はそれ金に添ねた建白で癈夫をして起たしむるの慨あるは頼母しいではないか(東京局)

拝啓御承知の通り私共は不肖なるも曾て兵に召され明治三十七八年戰役に參加するの光榮を荷ひ身を以て國難に殉ぜんとして果さず戰傷の爲に不具癈疾と相成り國家の干城として再び御奉公致す事能はず徒らに餘命を存じ居るものに候然し私共の

★微功に對して

は過分の恩賞と深厚なる慰藉とを以て遇せらる洵に君恩の洪大無邊なる感泣の至りに堪へず如何にして此の洪大なる 聖恩の萬分の一に酬い奉るべきかは瞬息の間も念頭より相放れず何か身に相應しき御奉公もと種々心掛け候へ共不自由なる身にては心に任せず誠に遺憾に存じ候然る處近時世界の趨局は愈々紛糾を相極め我國の近き支那の紛亂獨逸の東漸は益帝國に重大なる使命を齎し候

戰局の前途は如何に變化致すべきや逆睹すべからず

列國の猜背も亦豫め測り知るべからず候既々たる虎視は東洋の天地に向つて集注されつゝある有樣に候若し夫一朝有事の秋は四面楚歌の重圍に陷るの大覺悟を以て萬事を顧慮し準備し置かざるべからざる事は私共如き不具にして愚鈍なる者が今更事新しく申し上ぐるまでも之無き儀に候實に東洋に於る平和維持は一に我帝國に俟たざる可からざる今日に於ては何はに措き候ても國防の充實は我國自衞の爲め刻下の緊要問題に之有又以て

★天下の輿論に

候然るに國防上重大なる任務を有する航空界の現狀は如何當局者が苦心慘憺の結果は漸次發達の機運に向ひつゝあるは國家の爲慶賀すべき儀に候然れ共是を歐米諸國の進步發達の偉大なる現狀に對比すれば其發達の程度の頗る遲々たるものにして大小霄壤の差あるは轉た遺憾の次第に候何故に如斯懸隔を有するかは其職由する所一にして足らざるべきも最も重大なる原因は彼れに於ては國民一般に

是が研究獎勵に熾烈なる犧牲心と非常なる努力が須ひ

たるに反し我國は其局に當る者の外に於ては國民一般に概して無頓著にして其熱心の度甚だ高からず即ち至誠の足らざる點あるは否定すべからざる事實と存ぜられ候斯くの如く國防上大切なる事柄に對して國民の多數が冷淡なる一事は物質的見地よりも寧ろ精神的方面より考へ來りて誠に憂ふべき現象と愚考仕 候是れ實に國民の猛省を喚起すべき由々敷問題に候國民の至誠を是に集中して少くも泰西諸國に對して拮抗し得る程度迄には努力せざるべからざる儀と存じ候茲に於て誠に潸越の至りにて候へ共

☆癈殘不具の身

も帝國の臣民として奮勵せざる可からざるを深く相感じ申し候然し不具の身の心は如何に思ひ候とも到底人並の事は出來ざるも分に應じ何かの方法を以て奉公の赤誠を致さむと愚考し平素先生(後藤氏)が御指導の許に親密になし居る癈兵同志四十人の者申し合せ曾て戰場にありて困苦缺乏に堪へて御奉公致したる當年の氣分に相成乏しき小計中に萬事に就て克己し制慾し其剩し得たる零細なる金員積り積りて二百五十五圓に相成候

是實に私共の血滴たる愛國の至誠を籠めたるものに候

是れを航空界發展の資金中に獻納仕 度志願に候金額としては誠に些細にして大海の一滴にも及ばず候へ共金錢よりも私共の眞心を御取揚げ被下候て唯癈兵四十名の匿名にて先生其代理となせられ其筋へ獻納の手續御取計らひ相煩し度奉懇願候

木造汽船

粗製濫造のため航海中に船體が狂ひ易い

最近造船能力は僅に三四ヶ月 木造船の壽命は三箇年位ゐか

歐洲の戰爭開始以來我國海運界は前代未聞の好況を呈するに至りしより從つて船腹の缺乏を來し當業者は之れが補充策として木造汽船の建造に着手し今や其數百を以て算する盛況を極めつゝありと雖も其裏面に至りては甚だ寒心に堪へざるものありとて老練なる一船長は語りて曰く

元來木造汽船を建造するには第一良く乾き切つたる木材を以て建造するを原則となしたるものなり然るに

▽近來造船業者

は其本則を沒却し生乾きの木板材を用ひて建造するを以て當然の作業の如く心得居れり甚だしきに至りては生木を一部に使用し居るものさへあり是等は需要旺盛の爲め材料缺乏の結果に依るものとして多少恕すべき點なきに非ざるも驚くべきは六吋五分の釘を使用すべき筈なるに拘らず三吋の釘を以て六吋五分の釘に代用し居る事なり氣の毒ながら安藝大崎島邊の田造船所に於て建造したる千噸型の木造汽船は水板即ち眞鍮張の處迄に大枚

▽一萬六千本の

釘を省き而も釘を打たるかの如くの體裁を繕ひ埋木を爲し居たる事なり如何に釘價騰貴したればとて造船業者は建造費用を見積りて請負たるものなれば故意に當然使用すべき釘を省き殊更埋木を爲して船主を瞞着し不當の利得を納めんとするは實に言語道斷にして商業道德を根本より滅却したる所爲なり正直に云ふれば一千噸型の木造船を建設するに於ても約五六ヶ月の時日を要するは當然とす然るに

▽最近造船能力

を見るに僅々三四ヶ月間にて竣工するもの珍らしからず斯る次第なるを以て勢ひ粗製濫造と稱するも過言にあらざるべし、實例を擧ぐれば航海中波浪の甚だしからざるにも拘らず船體に狂ひを生じ應急修理を施す事より要するに機關の動搖に依る者なり機關の動搖に依つて船體に狂ひを生ずる程の造船が果して數千哩の航海に堪へ得らるべきものなるや否や船員のみならず識者を俟たずして知るを得べし

▽世に狸の泥船

と稱する古諺あるが夫れと比較して大差を見ず多大の經費を投じて建造したる船には貴重なる船長以下幾多の生命と財産を託するものなり然るに斯の如き粗惡なる建造を爲し恬として顧みざるに至りては商業道德は全く地を拂へりと言ふも過言にあらざるべし昨年より本年に至り沈沒若くは行方不明となりたる汽船は夥しき數に上るべきが鐵製汽船は殆んど稀也、遭難船の多くは航海中暴風雨に遭遇し海洋に於て沈沒したるものは極めて少くして普通の航海中に遭難するもの多ければ

▽其影響する處

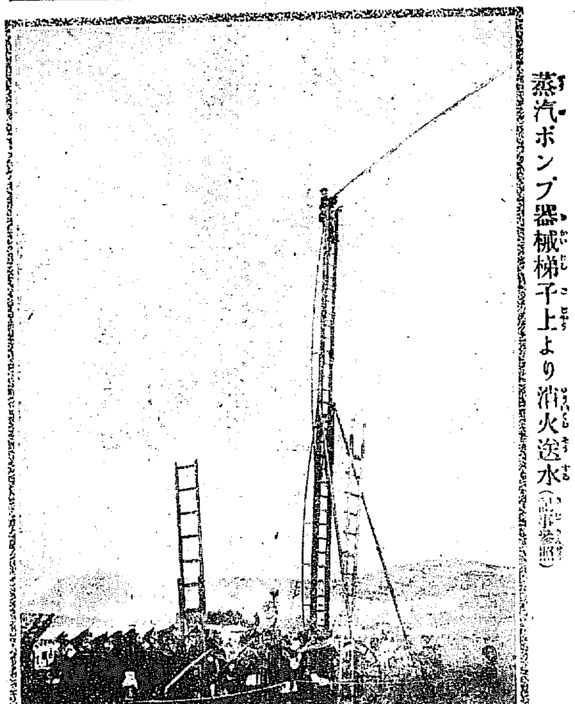
頗る重大にして我國經濟上にも打擊を與ふる事少からず現に大阪にて新造汽船にして四五隻竣工せるは船主と造船業者との間に契約履行問題に就て抗爭し居れるが是等は何れも船體の不完全を理由とし居るものにて現に同船に乘込むべき船員の一船長の語り模樣を聞くに危險にして航海に堪へざるより乘船を斷りたりと前途の事等より推察すれば

▽無理からぬ事

なり目下海運界好況なるを以て木造船にても運用し利益を收めつゝあるも何れ戰後衰頽たるの時機到來するものと覺悟せざるべからず此時に當り今日の木造汽船は如何なる方面に使用せらるゝか疑問とする所なり何となれば今日は船腹拂底の折柄なれば荷主も多少の苦痛を忍びて託送するも戰後船腹の充實する曉には荷主は木造船

▽鐵船を選ぶに

相違なし是れ貨物の安全を期する點に於て然りと爲す此場合木造船に積載するに貨物乏しく船體は往々破損に陷り修理を加へ多大の失費を要する事なきを保すべからざれば木造船の壽命は約三箇年と見て差支なかるべし(門司)


蒸汽ポンプ器械梯子上より消火送水(記事參照)

◎先着は僅に二分

壯觀を極めたる秋期消防演習

京城府內消防隊組の秋期消防演習は十二日午前十時より訓鍊院廣場に於て催されたり檢閱場內假定火災區域を劃し各隊組の防禦位置を定め

◆柵內中央に 立てる竿頭の旗を以て標とせり正面には天幕張りの檢閱本部及び來賓席を設け檢閱場前には大國旗を交叉せる正門を設け諸般の設備遺憾なく整ふ當日の指揮官たる長谷部警視演習指揮小熊警部は早朝より檢閱場に出張し

◆定刻前には 兒島警務總長、時永保安課長、國分李王職次官、矢野龍山憲兵分隊長、永野警視、各關係警察署長其他來賓多數來場、斯くて定刻十時を報ずるや一發の煙火

◆秋晴れの空 高く轟きて演習は開始されたり。之より先京城消防組は本町五丁目電車終點に、龍山消防組は黃金町四丁目警官派出所附近に、新龍山消防組は本町五丁目稻荷座前に、廳浦及び桃花洞消防組は東大門下に、常備消防隊は本町五丁目電車終點、黃金町四丁目警官派出所附近、鍾路五丁目藥學校前、鍾路通午橋に分れて

◆出動準備を 整へ今や遲しと待ち居たること・て合圖の煙火轟くや僅に二分を出でずして廳浦消防組を先頭に各隊組一刻を爭ひ目標を目蒐けて八方より馳せ集まる敏速さ中にも二臺の自動車が砂塵を捲きつゝ疾驅し來る後より耍々たる

◆馬蹄の響き と警笛を吹き黑煙を揚げつゝ疾走し來る蒸汽ポンプの姿を認めたる時に觀衆何れも快哉を叫びたり、斯くて二十五の車輛、九個の梯子、五臺の[illegible]二百八十二名の隊組員各所定の防禦線に著くや各指揮者の號令に從ひ一絲亂れず演習を開始せり各隊組共に

◆掛聲勇しく ホースの口を目標に擬せし中に蒸氣ポンプは機械梯子を以て號令のまゝに自由自在なる活動を開始し中空に白龍躍るの壯觀を呈せり、やがて喇叭の響きと共に演習を終り所定の位置に著き小島總長以下の巡閱あり臨澤警務部長より懇切なる一場の訓示あり之に對して長谷部指揮官の答辭兒島總長の簡單なる訓示あり午前十一時半各自退散したり

◇子供に不熟な果物は禁物

是から流行る恐しい疫痢

柿が赤らむ、栗が出る、柘榴や無花果が甘くなる、だん〳〵と秋の實りが豐になると彼方此方に、恐ろしい小兒病の疫痢が流行つて來るやうですが、疫痢は暑さざかりの眞夏よりも、却て秋口の果物が赤らむ時分の方が多いやうです是は毎年の實例から見ても確かなことでこの恐しい疫病が涼しい秋に

◆何故多い かと云ひますと、九月の末から十月の半ばにかけては、氣候の最も不順な時で冷たい秋雨が降るかと思ふと、荒れ日の前の蒸し暑いやうな日がつゞく、單衣を著たり袷を著たり、ちつとも定めがありません、こんな時、今日は少し蒸し暑いからと油斷して、子供に薄著をさせておきますと、夕方になつて

◆急に寒く なります。けれども子供は、遊びに夢中になつてゐると、なか〳〵元氣なもので、少し位の寒さでは家へ歸つて來さうもありませんから冷たい空氣にあたつたり、腰冷をしたりしてお腹を冷しますと、お腹の皮は大變に薄いものですから、直に腸を弱くするのでございます。そこへ

◆生の果物 などを食まうと、大人と違つて一體に抵抗力の弱い子供の身體は、忽ち有害な黴菌に襲はれ、非常な速力で其が繁殖します。疾風に襲はれるやうな暴威で、達者な子供が一日のうちに疫痢のために斃れますのも斯樣な次第からなのです。夫も早い內に手當をすれば、九死に一生の

◆玉の緒を とり留めることが出來ますけれど、少し手おくれになりますと腸內の毒素は忽ち腦を犯し、早いのは二晝夜遲くも二日か三日間苦しみ悶ねつゞけて死んでしまひます。よく疫痢には醫師がカンフル注射を試みますが、もう腦の方を犯されてからでは、どんな名醫も施すに術がありません。疫痢に罹つた子供は

◆朝までは 元氣のよかつたのが、夕方になつて身體をだるがつたり、急に泣き出したりする位なところで、大した症狀を現はしませんから、親たちも他の病氣のやうに氣が付きません。ポンポが痛いよーといふ頃は病勢のよほど昂進してゐる時で、もう此頃になつてあはて出しても十中の九までは絕望です。お母アさん方の

◆根本注意 としては病に罹つてからの手當てよりも、その豫防に極力お盡しなさる事が肝要です。それにはお腹を冷さぬこと、殊に不熟な果物を食させぬこと、殊に柿や栗などを生で多く與へるのは實に危險至極です(某醫師談)

◎繫留氣球の發火

獨軍一飛行機瑞西國境を襲ふ

獨軍一飛行機は八日夜半瑞西國境に於ける瑞西の繫留氣球を攻擊して之れを發火せしめたり其際瑞西の觀測者燒死せり(セーバ電報)

◎長唄正評會月並會 長唄正評會にては十三日午前十一時より花月に於て第四回月並會を催す番組次の如し ▲末廣狩 唄文子 三絃花仙 すみ子 [illegible]

演藝案內

壽座 本町三丁目 電話五七八番
當る十月十三日より 日本一帝劇元祖浪花政吉一行
▲切 義士外傳 ▲前 義理の柵 [illegible]

黃金館 電話(晝間)二二六六(夜間)二二七七
瀧夜叉姫 將軍太郎 タタース 輪廻の絆 [illegible]

壽館 本町二丁目 電話一〇五〇
▲浪曲の名人雷右衛門一行 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三
[illegible]

有樂館 [illegible]

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 京阪落語若手大一座 [illegible]

實用防寒 毛布 東京織物仲繼店

結核專門 古賀病院 九州線二日市驛下車四丁

廣告 鐵鑛 鐵石鑛區 岩田商店

田村質店 黃金町長橋町入口 電話一九一六番

釜山名譽商店案內

清酒・罐詰・糖粉・官煙 あづまや商店 電話三五九番

長綱商店

乾物糖粉卸 煙草雜貨問屋 合西山商店

酒精 燒酎 西貢米 砕米 砂糖 麥粉 榮商會 釜山埋立新町 電話長二〇八番

仁川期米 土曜集會 天晴 [illegible]

京日小供ページ

頗る之辭

私のお父さんである京城日報が頗るの子煩惱であつて、皆さんのためにお伽噺を書く事は頗る永い間の事であります。まだそれのみでなく全鮮各地に渉つて頗る有益で頗る面白い講演を開始しまして頗る皆さんの歡迎を受け頗る大の仲よしとなりました。しかし私のお父さんはそれだけで滿足する事が出來ないで頗る不滿足であります。お伽噺を書いて居ましても大きな坊ちやんや嬢ちやんに面白く書けば小さい坊ちやんや嬢ちやんをのけ者にせねばなりません、小さい坊ちやんや嬢ちやんに面白くすれば大きい坊ちやん嬢ちやんは『何ーんだつまらない』この不平が出ます、そこで涙光先生も頗る困つて居りますので、今度は大きくつても小さくつても皆で面白く讀んで下さるやうに私がオギアと生れたわけであります、生れだちから頗るお話の上手な私を皆さんは頗る可愛がつて下すつて頗る大の仲善になつて下さいませ。

姉と弟

涙光生

夕空晴れて秋風吹き　月影落ちて鈴虫啼く　思へば遠し故郷の空　嗚呼我が父母いかにおはす

十月〇日午前釜山を發した北行列車は單調な山と廣野との間を縫うては驛に、走つてはまた次の驛にと北へ北へと進行しました、中部に連結せられた二等客車の中に金縁黑衣の十四五歳の少女と、金釦白衣の十か十一か位の少年とが隅の方に乘つて居ました、他の乘客はみんな日本人ばかりでありますそれで一層この二人の者が人の目によくつきました、汽車はひた走りに續けて日暮方鳥致院驛に著きました、一二等客車の人達は大方食堂に入つて行きましたが、後には二人が殘るばかりで『夕空晴て……』は發音は不自由ながらも玉をころばすやうな聲で彼の少女が歌つて居るのでありました、その悲しい節は窓外を吹く野分の風に送られて色取々の七草の根に吸込まれて行くやうです少女は可愛らしい瞳を上げて『お姉さん、まだ遠いの？』

これもおほつかない日本語でありました『ね、まだ〳〵なのよ、でもお怜悧だから我慢するわねえ、さ、パンでも食ませう』二人は小さい鞄の中から新聞紙に包んだパンを出して食初めました二人はちつとも活氣がなくつて凉しい瞳には何時も涙がうるんで居りました

二人は姉弟であります お父さんは西伯利で戰死しました、風の便りに聞いたハルビンに居る母を訪ねて小さい二人ははる〴〵と東京から永い旅をつゞけて來たのであります、私は此の露西亞の少女と少年のその淋しい姿を忘れる事が出來ません、二人のお母さんはハルビンに居たでせうか、私は心配でなりません〳〵

運動會
―嬉しかつた―

京城各小學校の運動會もいよ〳〵十二日の日之出、鍾路、十三日の南大門で終りました、記者は各學校の男ましい、美しい運動會を見せて貰ひました、そして皆さんの元氣な樣を感心せずには居られませんでした、昔からの言葉にも『健全なる精神は健康なる身體にやどる』と申しますから皆さんはきつと大きくなつたら偉い人になれる方だと思つて居ります、益々これから勵んで勉強しようではありませんか

〇板の間に正坐　櫻井尋常小學校では正坐する方が身體のためにもよいと云ふ先生方の敎へを守つて少々足が痛くつても、またいかなる板の間でも膝を正しく長時間正坐に堪へるやうに心がけて居ります

講演日誌

涙光生

◆十月一日◆　本社及び毎日申報社主催の普通小學兩校聯合の大講演會が午前九時から日の出校、午後一時から南大門の小學校で開かれました貞洞の吉原校長さんや鍾路の河野先生が出演して下すつたので大盛會、お蔭で私も無事に話させて頂きました。

◆十月六日◆　若草町の願等寺で京城佛敎日曜學校の大會が開かれました、私のお話が許されまして、皆さんに喜ばれたことを私も心から喜んで居ります。

◆十月十日◆　午後七時から龍山の龍光館で十日會の家族會に家庭講演を致しました、お母さんが坊ちやんを怒りながら泣いて聞いて吳れました。

◆十月十七日◆　午後一時から京城女子普通學校の同窓會でお話する事になつて居ります、普通學校の卒業生に話すのはこれが私は初めてゞあります。

文藝募集

燈火親しむべきの時となりました皆さん自身の手になつた、作文、和歌、俳句を募集します、作文は一行十五字詰の十行以内に限ります、和歌と作文は二題以内として選ます、きつと自分で作つたものでなくてはいけません、宛名はかならず、京城日報社内京日子供ページ係御中として下さい

〇僅か二十騎で三百數十の敵に勸降
命を助けてやるから降參しろ
斯くて兩師團は東西相會せり

黑龍沿線に散在しゐたる過激派軍はネルチンスク方面より東に向つて進みたる白井騎兵中佐の率ゐたる騎兵聯隊とブラゴエチエンスク方面より西に敵を壓迫して進軍したる十二師團の騎兵聯隊とに

挾擊され囊の鼠

となり更に東西より進みたる兩隊がルフロオにて合體する事に依つて黑龍沿線より確實に過激派軍を一掃するに至りたるが、今其詳細をセミヨノフ軍に從軍して此の方面にて

活動したりし某

氏の談に依るに、チタより黑龍線に向ひたる白井騎兵中佐の率ゐたる我が軍はネルチンスクに至りてセ軍の來著を待ち合さんが爲め二日間同地に滯陣し、夫れよりセ軍と共に又汽車にて進軍し、モンゴチヤ迄至りたるが策戰の都合上數里先なるタツプガール迄軍を進めたるが

此の時敵兵二千

がエレイボーロウイチに在る事を探知し、直ちにタツプガールより黑龍江岸に赴く黑龍支線を利用して、内海中尉、光野中尉が各々手兵四十騎を率ゐ、尙ほこれにセ軍二百と砲二門を合してチヤソワヤに出で夫より船にて黑龍江を下り

敵の背後に出で

んと出發せり、又之れと同時に高橋中尉は別に二十騎の兵を率ゐて内海中尉等の乘れる汽車と並行してチヤソワヤ向ひ、同所にて三中尉は合して黑龍江を船にて下りイグナシヤに到著し、其處より二十里先なるエレイボーロウイチの

敵を衝かんとし

たるが此時既に敵は汽車にて全部退却したる後なりしより已むなく高橋中尉のみ二十騎を率ゐエレイボーロウイチに向ひしなり

高橋中尉と別れし内海、光野の兩中尉は尙ほ黑龍江を下つてレノアに至り、其所より數里先なるルフロオに向つて進軍したるは恰度先月の廿一日なりき

一行は駒を早め

てルフロオ指して行く道路傍の露人より行手の狀況を聞くにルフロオには敵兵三百五十餘り居るも皆戰ふ勇氣も無く一同降服の意を示し居れりと云ふ情報を得たれば、我が軍より使者を差向け

降服を勸告せし

所、生命の安全を保證する事に依つて降伏の勸告を承引したり。之れにて愈々過激派軍全部、鐵塊傍の婦女等を合して三百五十を俘虜とし、尙ほ其の上

裝甲車六輛の外

大砲、小銃其の他食糧品等五十貨車以上を鹵獲したり而して其の翌日即ち二十三日此方の本隊は到著し、尙ほ午後三時にはブラゴエチエンスクより進軍し來りたる十二師團も來り、茲に於て始めて十二師團と七師團とが

東西來り會せし

なり尙ほ本線より進軍したる軍隊は途中裝甲車の會戰などありしも味方に一名の負傷者を出したのみにして直ちに之れを驅逐し、尙ほルフロオ附近にては自動車二臺を分捕たり（哈爾賓）

〇滿鐵に關係ある會社と諸事業
十八會社…千二百萬圓

滿洲に於ける事業の一端を助長すべき目的を以て滿鐵會社が公共的事業に關せるものは已に十八會社に及び其出資額は一千二百萬圓に上れり右關係事業は左の如し

◎電燈關係會社　瓦房店、大石橋、營口、遼陽、鐵嶺、四平街、公主嶺
◎市場關係會社　撫順、奉天、長春
◎取引所　長春、開原
◎工業關係　油脂會社、哈爾濱製粉、南滿工業
◎鑛業會社　南滿鑛業
◎交通事業　本溪湖輕便鐵道、長春輕便鐵道、大連汽船
◎倉庫事業　吉林倉庫會社

〇柳行李を作り皮を製し用に
◆研究次第では一財源◆

直隸省、山東省蒸縣を中心として柳行李の原料たる柳條及び桑條の栽培盛んにして日本内地に輸出し或は支那各地に移出するもの其數少からず然るに同原料製造の際だ抛擲されて居る柳皮は全部抛棄し何等利用の道を講ぜず然るに近き製紙原料の不足と共に同皮を以て製紙原料として研究するものあるに至れりと雖も幼稚なる支那製紙業者にては到底充分なる調査を行ふ事不可能にして唯乾燥して燃料に使用しつゝある桑皮柳皮の如きは其質楮又は三叉に類するを以て其利用法を攻究せば立派なる製紙原料を得る事疑ひなし同業者相宜しく此等廢物利用の策を研究し國利國益の一端を圖る事忽緒に付すべからざる問題なるべし（奉天）

〇皮革界の眞相
◆高くなりたる原因◆

東西國境關係の通過不可能と過激派の横暴とに依り奧地西伯利方面への輸出する事殆んど斷絶され一時不振の極に達したる哈爾賓皮革商は昨年の冬頃から如何ともなし難き窮境に陷つて居たのであるが今回日本軍の北征決行と共に

各税關解放され

輸出入自由になつた結果俄に好景氣となり昨年來持て餘した品は瞬く間に出拂ひ而も尙不足で東滿輸送不充分で著荷のないのを痛ち居る有樣である尤も此景氣は眞の好景氣ではなく奧行きを見越して哈爾賓

仲買人の買占が

大に強氣配に導いたとの事である目下最もよく出るものはクローム及び米國製キツトであつて底革の需用も相當あるけれども和製キツトの賣行きは思はしくないと云ふ價格は高低變化極りない故一定の相場と云ふ事は出來ないが約六百ルーブルを往來して居る其他貨物でクローム一坪七ルーブル八九十コペークより八ルーブル餘米國製キツト一坪十三ルーブルより

坪十五留位まで

である和製キツト一段落つて七ルーブル見當を以て取引されて居る底革は米國製封度三百八九十ルーブより四百二三十ルーブルであつて日本製は其上尙二三十ルーブル其他で賣買されつゝある（哈）

〇圓滿に解決
◆支那兵を威嚇して◆

日支外交の大問題とならんとしたる二十七師兵の奉天撫順炭鑛路妨害事件に關しては撫順赤塚奉天總領事より張巡閲使に對して嚴重なる抗議を申込み一方關東都督及び外交主務者にも進言し其後交渉を續けてゐたが張巡閲使も該事件の發生と共に調査の結果

非は總て支那兵

にある事を悟り關東都督及び總領事に向つても衷心謝意を披瀝して極力善後策に努め遂に日本側當局を動かし關東都督も總領事も日支國交の親善てふ事に鑑み成るべく圓滿に解決する方針を取たるを以て關東都督に對しては張巡閲使より正式謝罪狀を送り其第一條件としては支那兵の附屬地に

立入る事を嚴禁

し若し同規約を犯す者は日本兵及我當路官憲等の爲めに射殺さるゝも支那側は何等抗議を申込む權利なき事を誓約し且つ支那兵に對して今後斯樣の出來事なき樣嚴重に訓諭し衛の一般に之を告示する事とし略雙方同意を經たれば數日内に其解決内容を發表するに至るべし（奉天）

〇貨車に乘つた爲
奇妙な事ができた……卅八名發病

平南江西郡參事及び郡内各面長其他篤農家等三十八名は去る四日午後一時卅分發列車にて京城及び水原視察の途に就きたるが途中新幕驛にて或る事情のため貨物車に乘換させられたる所車中にて一同全部氣分俄に惡くなりしも其儘目的地なる水原に赴きたるに一同揃ひも揃ひて發熱甚だしく遂に十分視察すること能はず一行中の二人は京城にて到底旅行に堪へざるより京城に殘留すること〃なり一行は引返したるが其病狀は流行性感冒の如きものにして新幕驛にて乘り換たる貨物車中に何か病毒氣がありしものならんといふ（平壤）

◆秋鯖の世界◆
釜山の魚市場
遠く滿洲や日本内地へ行く

腐障りの良い秋風と共に鯖が毎日市場に堆く積まれる釜山水産會社での話を聞くと『釜山の魚類と云へば有名なもので内地にも匹敵する處は少くない程で其の輸移出先の如き北は奉天を飛越し南は京阪を突破する有樣であるから其の水揚げ高のごとき一年約三百萬圓で釜山での揚高は僅に三分に過ぎない、斯うした勢いで輸出されて居る魚は年々殖えて行く、ソレは人口增加に依る漁業の殷盛であるがそれでも尙需要に應じ切れない朝鮮に於ける需要は下級品に於て鮮人の方が多い樣である、内地人は何うしても口が肥つてゐる關係であらう、今日此頃は大分魚價も下つた樣だがソレでも一日の揚り高は約八九千圓位はある、本月の一日及び二日の如きは下半期に這入つての新レコード一萬五百圓迄上つたが此記錄は今後屢々見得る事と思ふ、目下一番多いのは云ふ迄もなくで鯖であるが亞いで太刀魚、鰤、鯛、鰆等で相場は五日の値で十貫に附き鯛十六圓、鰆十五圓、鰤十五圓、太刀魚二圓五十錢、鯖五圓で内地よりはズツと安い商港としての釜山は魚の釜山として世に知らるゝ素地を有して居る事は心強い譯である（釜山）

牛皮の改良法
改良鹽乾皮製法（續）
獸醫　矢野悠平（寄）

（四）洗皮　剝皮は直ちに之を清水にて表裏兩面をよく洗ひ血液其他附著せる不潔物を洗去るべし從來朝鮮にては曾て洗皮を行はざるのみならず殊更血液人尿泥土等を附著せしむるもの多く之れ等は重量を增さんとの奸計なりと雖も却つて品質を落すこと別項述ぶるが如し

（五）施鹽法　洗皮は水分を除去するが爲め之れを木馬に掛け滴水の止まるを待ち裡面を上にして屋根の床上に擴げ之れに鹽を撒布し（兩面共）充分に擦り込み數日間之れを放置したる後二番鹽を施し更に數日間放置すると前の如し施鹽は數回に亙り之れをなすも可なれども普通二番鹽を以て足れり若し乾燥を急ぐ場合はプレツシングを以て壓搾し水分を除去するも可なり在來法を見るに固より斯かる周到なる注意を拂はず單に粗鹽を撒布するのみに止るを以て施鹽均等ならず從つて乾燥後或は節を生じ或は腐敗を來すの虞れあり又苦汁を以て之れを濕すものあるも如斯は乾燥遲きのみならず時々腐敗を來すものなれば決して之れを用ふべからず施鹽の分量左の如し

大皮（一番鹽五升乃至六升）中皮（同三升乃至四升）小皮（同二升内外）

而して二番鹽は以上の六割乃至六割五歩とす

慶北共進會彙報
會場の案内（一）
松山共進會協務主任談

天朗かに氣澄み滿眸の稻穗は太く垂れ心神自ら爽快を覺ゆるの好季となり我第二回慶北物產共進會の開期も最早後二旬を剩すのみとはなれり、此機に方り共進會開會準備の概要に就き左に項を別つて記述を試みむこと、

◆會　場◆

◇綠門と廣告板　物產共進會場は曩にも記せるが如く達城公園を中心とせるものにして會場に通ずる驛前十二間道路上には四ヶ所、東城町十字街の高倚にして悠大なる綠門を經て左折し優美なる廣告板を以て道の兩側を飾れる恰も鮮民報社前を通り府廳前より曲り花園を通り過ぐること約二町にして右折十間幅大道路に出づれば即ち共進會場に通ずる表道路とす

◇正門前即賣店　廣告板の終點より通路の右方には大邱協賛會にて設備せる即賣店軒を櫛比せしむべく目下工事中にして茲旬日を出でずして工を竣るべし、

◇預所と切符賣場　携帶品無料預所は正門前即賣店の終點に設け觀覽者の携行せる携帶品は之にて一時預けを爲し十間道路を左折十二間道路を東進せば數十間にして表門數間前に洋式小形切符賣場を設く之等の工事は既に建設を了し目下化粧中に屬す

◇表門　切符賣場を數間東進すれば所謂正門に通ず正門は既に建設を了し巍然として聳立し第二回物產共進會場なる文字は金色燦然と輝き更に其の上部には共進會の記標たる片假名『ケイホク』の文字を以て圓形に連結し其の中心には『共』の字を挿入し文字の空間は午年に因める首宿に形取りたる記標は又偉彩を放つ、

◇噴水と花壇　正門を通れば噴水を中心として左右に花壇を配置する計畫にして目下工事中に屬し遲くも廿五日頃迄には完成の見込也

◇特設館（一）　民間營業者より特に出願建設せる特設館は正門を入りて左方に兵庫縣多木製肥所の設備に係る六角形の出品特設館は目下工事中に屬す、噴水の右方十數間にして大邱千代田洋行に於て盤井機等を裝置して以て一大瀑布を形成すべく計畫中にして不日工事に著手すべし、更に南進せば金泉末富の石摺唐紙、大邱車屋の蠶種、大邱小林金物店の製紙釜稻扱等の如き機具を陳列し内地に其の作業を示すべき特設館は目下工事中に屬す（第一）館　前項の特設館より踵を返し一號館に入る、一號館は面積二百八十坪を有する二層採光白堊館にして之に陳列すべきものは農產品六七點果實類一千點畜產品二百八十點林產品五十七點工產品二千點并に總督府及勸業模範場中央試驗所等より出品すべき參考品約百五十點并に東京白木屋、三越吳服店等より出品すべき各種の織物裝身具品等は本館の中央に陳列され赤總督府出品の八尺餘の猛虎の咆哮せる剝製は恰も生けるが如く本館正面入口に陳列され一際彩を放つべし

◇本館内の要所　には陳列品に對する說明的特別裝飾陳列を加ふべきを以て觀覽者は一見首肯し得らるべきを信ず、第一號館の設備は既に完成し内部裝飾及び陳列も亦殆んど完了す、

第二號館即ち郡勢館及び參考館第一號館を出て左折すれば第二號館にして本館は其面積百廿坪二重採光の新設建造物にして其陳列品は一面には大正二年第一回物產共進會開催當年に比し本道に於ける地方行政の進展狀況を窺かならしむ爲め郡別に設備せる郡勢及び本道一圓を總括せる道勢を陳列し一面には内地、他道より出品せる參考品陳列するものにして郡勢狀況の如きは各府郡邑に於て特に智能を傾注して考案せるものに對し本道更に之を審議し設備決定せるものにして地方行政進展の狀を一目に會得し得べきを信ず、

參考品中には遞信局、營林廠、東洋拓殖株式會社、南滿洲鐵道株式會社、久原鑛業所其他各地に於ける會社若しくは内地府縣又は各道の業團体其他の出品は何れも極めて精巧優秀なるものにして觀覽者の注意すべき所なるを信ず、本館に陳列すべき總數は郡勢廿四點參考品二千三百點にして館並に陳列臺等の設備は略ぼ完了せり、出品物は著々到達中に屬し既に受付整理中に屬す、第二號館を出て數十歩にして屋外は露國模型を以て俯瞰的に陳列し以て府勢進展の狀を詳かにせんとするものにして一般觀覽者をして直ちに府勢の概況を肯定せしむきを確信す

◇盆栽館　盆栽館は府勢に隣して設置せらるゝものにして本館は大邱協賛會の設置に係り各種盆栽の出陳せらるゝや必せり（大邱）

◇出品と催し

◇兩吳服店　京城の三越よりの出品物は丸帶、友禪物其他十數點なるが之等は目下東京より送荷中なれば近く到著次第出品すべしと東京白木屋吳服店は出品物陳列方の爲め近く店員を派遣すべき旨通知し來れり

◇美術館　類慶館にて開催の筈なる美術品展覽會には過般鈴木堀池稻本の各委員上京の上李王職美術品中より數十點出品の承諾を得來れりと

◇經學院　京城經學院よりは共進會中副提學を大邱へ派し日本に於ける作文會を擧行すべき旨通知ありたりと（大邱）

〔花野〕

◆夜學　曩に公州にて商工業者の徒弟の短期夜學會を設け好成績なりしが全南麗水にても開始したり

◆元山　は人口減少し此夏と人口二千七百餘人減り内地人六千六百餘、鮮人一萬六千餘となる

◆大邱　にて鮮人婦女の河端にて洗濯する不體裁を改むべく水源池の附近に共同洗濯場を設くと

◆京城　郵便局の少年集配人は成績至極好良なるが今度釜山郵便局にても少年集配人を採用すと

たんせき　ぜんそく　すぐ切れる！

氣候激變期　永年苦むたんせきぜんそくが此冷氣で一層重態なつた、と云ふ人は躊躇なく直ぐ龍角散を服用よ、過去の煩悶に較し難き程もピタリと回復する。

流行感冒　だと油斷して居たらゴホン〳〵とたんせきが出だした、と云ふ人は直ぐ龍角散を服用せよ、忽ち苦みを鎭める。油斷すると、肺炎、肋膜炎、肺病と變じて遂に生命を奪ふ。

冷氣襲來

龍角散

たんせきぜんそくの　藥

かゝる人は必ず試みよ

龍角散は藥臭ひの人又は子供にも服み易く香味爽快なり

◉たんで常にゴホ〳〵と惱む人
◉ぜんそくで息切する人
◉せき頻で夜眠れぬ人
◉感冒よりたんぜきの人
◉肺病にて常に力なきせき出る人
◉たん臭氣あり時々血交る人
◉小兒百日ぜきはしか咳
◉音聲のかれ咽喉の痛み
◉呼吸器疾患一切たんせき

その外音聲を用る人服めば咽喉を滑かに聲の勞れを補ふに妙

三日分　二十錢　二週分　六十五錢
一日餘　十錢　一月分　一圓廿錢
一週分　四十錢　郵送料　二錢

取次　全國藥店にあり本舖へ注文は振替又は切手代用のこと

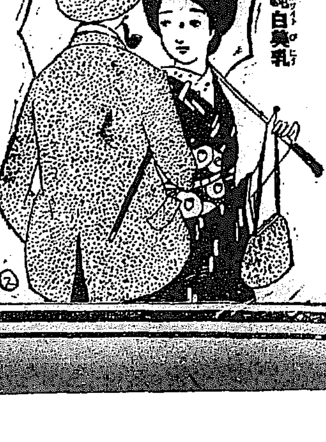
本舖　東京市神田區豐島町　藤井得三郎　電話神田二〇七八　振替東京一九一

樂しい秋の旅行に必ず忘れてならぬものは

美乳

新郎も―新婦も―

暑い夏の日盛りには日傘してならぬと日本に初めて出來た不思議の美白乳劑美乳を朝夕塗けたお此で幸ひ生地からの白さが保たれましたが秋に入つては兎もすれば忘れやうとする皮膚衞生、併し秋とは云へまだ洋傘が離しかねる時ですからコンナ事に油斷しては大變と主人にお供して郊外の快、花野の逍遙、何れの場所にでも必ず『美乳』を忘れた事はありません、實際『美乳』は皮膚の根本組織を美白化する不思議の成分と作用とがあるのですから近頃は主人までが髯剃後には『美乳』に限ると大變なんです



主人は美乳
夫人は純白美乳

本舖　大學白粉本舖　矢野芳香園

▲軍隊拂下被服類▼

京城府北米倉町　電話千百十二番　村上商店

營業品目　紺絨服、茶寒用具、防寒用具、特殊用品、馬具、外套、被服、改造洋袴、革具、各種作業用小倉服、手袋、毛布、背嚢、靴、其他拂下品一式

金剛山寫眞帖

定價　金貳圓五拾錢　送料　鮮内三十二錢　鮮外三十二錢

金剛一萬二千峰の絶勝中其の精を抽き粹を選びたる鮮麗優美なる寫眞版約九十面をアートペーパーに印刷して一卷の美事なる書帖となしたるものなり故に觀る者は居乍らにして所謂る金剛山裡の崇嚴なる奇勝及び古雅なる殿堂に接するを得べく又た近時交通の便開けしを以て兩三日の閑を金剛山に割かんとする人の爲めには絶好無二の東道者たるべし殊に製本は布製表紙の古雅なる和裝に成り應接室等に備ふるには極めて適當なる書帖なり

發賣所　京城太平通　振替京城三〇〇　京城日報社代理部

京城電氣會社特約製販賣

コールタール

龍山漢江通り八　電話四九番　金物商　島田忠作商店

商況

東京株式特電

十一日後場先限引値

東株 一七〇、二〇
新株 一三六、六〇
鐘紡 二四〇、五〇
[illegible] 九八、〇〇
[illegible] 一八八、九〇
[illegible] 七六、五〇

東京期米特電

十一日 ▲前場 各地の不勢に買物蟲み五十五錢さ十錢安に寄付き地場筋の賣物に三十三錢さ下押し[illegible]に打止めたり ▲後場 前場下値りの氣配[illegible]

兵庫期米特電

十二日前場 三十二圓八十四錢

大阪株式特電

十一日前場 [illegible]

大阪三品特電

十月限 四〇、八〇〇
十一月限 [illegible]
十二月限 [illegible]

大阪期米特電

十一日 三七、七一〇

下關期米特電

[illegible]

雜報

●綿布益割高

五十錢 三銘は十二圓

[illegible]

●正米底強し

非常の割高

●新粳弗々出來

●鮮白は持合

●白米上値り約一圓

高位の見當

●洋針は小變

細物概して高く四時以上の太物は總て安模様なり

●內地礦油强硬

▲揮發油

▲輕油

▲機械油

[illegible]

京城正米市場

强持合

仁川正米

三等合格品三十五六圓

釜山市場

各地商況

▲大邱米況（十一日）[illegible]

下關相場

生魚市場

李亨雨商店扱

仁川期米

十二日前場（强硬）

高寄付三十六錢

大激戰裡に强硬の成行

三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目

市場雜觀

▲昨十一日當地大阪前場の成行
[illegible]

倉重商店 仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

六圓內外の鞘も此節少し大阪の鞘も縮

新米の出盛に際し斷る高値か持續するか疑問

ナ 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長九〇五番 [illegible]

叺縄莚 穀物叺及荷造用莚各種 石油 海產物 大田本町三丁目 箕浦商店 長電話五二番

仁川米豆取引所

十二日 十二月限

白米小賣値

白米標準値

一等白米 四十錢五厘
二等白米 四十錢

廣澤正次郎 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長七六番

毛谷村六助 卅六番角力

第卅三席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

毛谷村六助は傳右衞門に對ひ六「此儀は仲間を憚りますからお人拂ひを願ひます」重「一同の者遠慮いたせ」元老の言葉に皆々遠に遠ざかつて遠慮する 重「さア六助苦しうない、如何なる譯じや」六「御意にございます、先般私儀彼の彈正ご試合、敗れを取りしは偽りでございまする、其の折彼は先立つて手前へ頼みし時は云々斯様でございまする故、如何にも孝行なる者ご心得、速かに勝を譲り遣はしましたる處、其の様子は云々でございます、殊に宅へ戻れば其の翌日峠下の人殺し、五郎八の母の死骸衣類こ云ひ其の年齢如何にも怪しき廉のみにございます」かて、加へて又今月圖らず手前方へ落いたしましたるは、私めの恩人毛利家の指南番吉岡一味齋の妻娘、云々の譯にて參りました、これご云ひ是ご云ひ思ひ當りまする事のみにございまする間是非共再度の試合を願ひまするもお許しに相成らず手前も大きに當惑をいたし居りまする折柄、元老の御出は何より幸ひ何卒太夫の御威光を以て今一度試合の儀を願ひ上げ奉りまする」赤心の面に溢れ思ひ入つて申し入れる、始終を聞いて傳右衞門思ふ仔細もある故言葉を和げ重「イヤ尤もなる其方の申し立、萬事が含み置く、暫く此處に控へて居れよ」六「畏まりました」重「且つ神妙にいたして居るやう」ご云ひ置いて傳右衞門直取次を呼寄せ、傳右衞門只今歸國早速お目通りを願ひたしご申し入れる、他人ならぬ附家老益田傳右衞門である、何の用か主君も急ぎ席を改めてお會ひに相成る、些か御酩酊であるが 益「オー傳右衞門か、只今戻つたか、それは〱拾度宜い、此處で會はう、此方へ」ご申さ 其趣きを十時に告げる、十時は御前へ伺候致し遂に下つて兩手を搖へ、此度打合せ萬端を一々復命に及びました 傳「イヤ遂路大儀であつた、さア近う先づ一獻取らせるであらう」ご差出す盃を恭しく頂きました 傳「時に傳右衞門此者はな、其方の不在中召抱へた微塵流の遣ひ手微塵彈正ご申する者、コリャ彈正此者が當家の元老職十時傳右衞門であるぞ」彈正を御愛顧の餘り紹介いたさる〻も輕々しきこ〻、彈正は席を下り、巧言令色は彼の得意最ご丁寧に挨拶いたす、十時も會釋を偽ながら 重「それは〱珍らしき流儀、何を申すにも此節柄天晴の英雄をお召抱へに相成りし段手前に於ても大慶に心得まする」盃を蒙つて彈正へ献す、彈正喜んで盃を受ける、十時は素より世才に長けたる人物、鬼臉もなく彈正に話しをいたしながら我が懷中を探くのは過日毛利家の重役より承はりし吉岡の一條、其時家老中より依頼を受けたる京極內匠の搜索人相書まで渡されたるを只今又々彼の六助の物語、懷中の人相書ご徹頭徹尾彈正の容貌を見比べるに寸分違はぬ面體格好、殊更チラリと見受けたる左の小指半ばより落ちてあり、偖はご心付き 重「偖御前へ申し上げまするが、只今御次間にて承はれば御領分毛谷村の庄屋六助ご申する者、何やらお願ひあつて出頭いたしたご申しまするが、それは何事にございまするか」益「ハア未だ居つたか、イヤ傳右衞門、法を知らぬ下郎には困つたの、其者は此なる彈正ご試合をなし、嚊くも打負けた、然るを今一度試合を願はんご申し出たのじや、迚も彈正の相手に立つべき程の腕前ならず、相成らぬによつて退れご申せしを未だ彼處に居つたか、コレ早く退けぬか」重「イヤ暫くお待ち下さいまする樣、ハア此なる彈正ご試合を爲せしは其めにございまするか、上は一度御覧に相成るも私めは生憎に其節居り合さず、兩人の手の內も存じませぬこご故、殊に彈正が微塵流ご云へるは初めての儀にございますれば何卒今一度御前に召され仰せ付けられたく」ご申上げました

院長 醫學士 森 定吉
（芙蓉醫院改め）內科 小兒科 入院隨意
森病院
京城明治町二丁目（舊鶴田醫院跡）電話二六二三番

家庭重寶記

▲下駄の表を綺麗にするのは布に酢を少し許りつけ汚れた部分をよく拭ひ後清水で拭いて置けば新しい品同様になります

▲馬鈴薯の皮をよく干せば焚付になります、臙脂で臙らせるより如何衞生的にもなります

▲ナイフの錆を取るには馬鈴薯の切り口に西洋磨粉をつけて磨くご綺麗にこれます

▲庖丁の腥さを取るには生姜の葉で庖丁をこすればこれまで手の腥いものも同様の方法で宜しいのです

▲瀬戸引鍋の錆を去るには鹽ご酢各十三匁許りを五六合の水に混ぜ鍋の中に入れて五六回煮立たせて後よく洗へば錆分が去りますから其鍋で物を煮ても害ではありません

▲砂糖 色が白く光澤のつて塊まらず、舌に溶けるやうなのは上等で口當りの甘いほご輕いものです

皮膚科 外科 專門 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二三五八番

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科 安部修二
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 長電話四一九番

十月十四日 九星 舊九月九日 甲午 本命三碧 [illegible]

[illegible]

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginsing Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous debility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria. Price ¥ 1.80

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き身體の强壯を圖り尚新活力を賦與し得べき

◎ミツワ人參葡萄酒

風味高潔清和滋養豐富
元氣增進興奮作用優秀

本品は科學的研究を經て効力卓絶なる人參を、周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして、其の色は紫紅にして鮮麗、其の香は芳芬にして爽、其の味は濃厚にして輕快、能く何人の嗜好にも順應し、元氣を增進せしめ、榮養の佳良並に身體の强壯を齎し、精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き、尚健者に新活力を賦與する上に於いて他の物を以て代ふべからざる効果あり、本品は隨時隨處飲用すべく、一度沸騰したる水或は醪湯の清涼飲料を以て稀釋するも可なり。

▼如斯人は强壯料◎ミツワ人參葡萄酒を用ふべし▲

一、元氣を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、精力を增したい人
一、身體を强壯にしたい人
一、元氣良く活動したい人
一、延年長壽が願ふ人
一、病苦や不快な感覺を忘れたい人
一、精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人
一、食餌を進ませたい人
一、消化を良くしたい人
一、榮養を良くしたい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、勉强又は勞働して疲れた人
一、生來虛弱な人
一、身體の瘦衰けて居る人
一、貧血して居る人
一、顏の色が沈めて艶の無い人
一、手足や腰腹が冷えて寢つかれぬ人
一、些細の事まで氣にかける人
一、悲しい事も無いのに泣きたい人
一、悲觀して厭世的になる人
一、精神鬱々とする人
一、時々氣を失ふ人

定價 一瓶 金壹圓八拾錢 內地以外は送料を加ふ

ミツワ人參葡萄酒 "Mitsuwa" Ginseng Wine 丸見屋商店

（現品縮寫圖）

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.
Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1.70

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき滋養强壯料

◎ミツワ規那鐵葡萄酒

香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絶

本品は山梨縣登茂崎葡萄酒釀造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那並に鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に、容易に變敗する憂ひなく、規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、强壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香、美味を具へ、食慾缺乏、榮養不良、慢性の發熱並に痳病、黃疸病、貧血、萎黃病、貧血より起る神經性疾患殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、産後並に病後の一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり

▼如斯人は滋養料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし▲

一、食餌の進まぬ病人
一、榮養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く胃腸に障り易い人
一、産前産後の滋養を圖りたい人
一、病後の衰弱を早く回復したい人
一、色蒼く肉瘦せ活潑ならぬ人所謂腺病質の人
一、腺病即ち瘰癧に罹つて居る人
一、胃腸長く病み疲け咳嗽や痰の人並より多く出る所謂結核性素質の人
一、肺結核や腸結核、關節加答兒や肋膜炎、其の他結核性の病などに永く苦しんで居る人
一、右の如き病で熱の永く續いて居る人
一、下痢の永く續いて居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に惱まされて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に惱まされて居る人
一、萎黃病など血液の病に罹て居る人

定價 一瓶 金壹圓七拾錢 內地以外は送料を加ふ

（現品縮寫圖）

京城日報

京城日報 南方の矛盾

一

廣東の新國會が、總統改選を宣言して[illegible]を選舉し[illegible]國會は[illegible]を發して總統者こ爲しつゝありこの事ありしが、約法に依れば、大總統の選舉は參議院衆議院ご聯合し、且つ議員總數の四分の三以上の出席を要するこご爲り居れるを以て、廣東舊國會の現在員四百名にては、法定數に達せず、到底正式の選擧會を開き得ざるを以て、軍政上廣東軍政府を以て、總統及び國務院の職權を執行せしむるここを議決したりこいふ。約法擁護を以て唯一旗幟ご爲す南方派も是に至りて窮せりこいふべし。

二

南方の國會が右の決議を爲すこ共に、一の宣言書を發表したり。其宣言にいふ、國會は大總統の任期滿了前三箇月に、次期總統を選擧すべき規定なるも、目下非常の政變[illegible]以て、暫時選擧を延期し[illegible]を見るまでは、民國七年某月某日より軍政府に國務院代理、並に總統選擧法第六條の規定に依り、總統の職權代行を委託すこ。大總統を選擧せず國務院を有せずして、約法が何れの處に行はるべきぞ。之を以て獨立國體たるの承認を得んこす。豚を推して虎こするに類せずや。

三

軍政府なる一時變態のものに、國務院の職務を代理せしむるこいふの規定は、約法の如何なる條章に存するや。大總統を選擧するを得ずして、之を軍政府に代行せしむるこいふは、果して約法の許す所なるべきや。常に理窟一點張にて約法擁護を云々するものにして此の自家撞着を爲して怪しまず。是より南方の非を責むるの辭なからんこす。

四

彼等は此の矛盾を飾るに『目下非常の政變に遭遇せり』この一語を以てす。非常の政變に遭遇せるが故に、非常の措置を爲して差支なしこせば、北方が新國會を召集し、新總統を選擧するも亦非常に處する非常の措置たらずはあらず。若し約法違反を以て論ずれば、南北同罪なり。又臨機の措置にして條件なきものこするならば、獨り北方のみを咎むべからず。自己の嗜を咏喩こして、他人の味噌を惡こするは、如何に支那の事なればこて、容す可らざるこ勿論なり。

五

支那の約法問題は、所謂理窟を以て解決すべき性質のものにあらず。非常時に際して非常の處置を取るは、以て國の生存を維持する所以なるを思はゞ、妄に偏窟なる理窟を主張するの愚を領得すべし。何ごなれば國は本にして約法は末なり。約法重んずべきも、國を以て之に易ふるこご能はざるを以てなり。

六

今南方も亦非常時に際しては、非常の處置を取るの必要を認めたり。何ぞ更に進みて一切の私情を棄て、國の危急を救ふの方法を講ぜざるや。知らずや歐洲大戰の終熄は即ち狂瀾怒濤の支那の沿岸を襲ふの時なることを。南方人も好い加減に三百的理窟を拋たずんば遂に噬臍の悔あるべし。

獨逸講和提議 外務當局者談

獨逸政府が瑞典政府を通じて米國大統領に講和提議を正式に爲したる其の五箇條新要求電報は北方にも到達したるが之れに就き某當局者は語つて曰く今回の提議たる一般的休戰並に本年一月八日のウイルソン大統領の教書に列記せる十四箇條及び本年九月二十七日同大統領の説明の主旨に基づき以て至急に講和締結を希望せんごすることは此の前の同國提議を敢て其の提議に異なる點認められざるなり唯土耳其ご獨逸ごが今回は同意を表し居れるこいふに過ぎず徒らに大統領の教書に列記せる十四箇條に賛同すべしこのみの條件にては米國たりこも之れを首肯せざるべく、乃ち聯合國側の要求しつゝある諸種の重大問題に對して獨逸側より具體的に進みて提議し來らざれば、容易に其の提議をして問題こするには至らざるべし。要之米國大統領を始め聯合國側は敵國が此の提議するの條件に對して各國各々其主意ご目的ごを一にするに至らざれば斷じてこれを認容するの事なきを確信するものなり又瑞西通信に依れば墺匈國政府は既に獨和政府に對し海牙を講和談判の場所ご爲さんここを求めしが如く傳へ居れごも、和蘭外務省に於て否認せるが如く未だ北處までの運には進み居らざるが如し(東京)

郵便雜話(一) 矢野監理課長談

萬國郵便ご記念碑

現今の如き利便なる萬國郵便條約の締結せられざる時代に於ては海外旅行者或は外國在留者この間に信書を遞送し若くは外國ご關係を有するものゝ外國ごの間に信書の交換をなさんごするも實に面倒にして不便ご少からざる經費を要したるものなりしが亞米利加合衆國政府は以上の不便不利を除かんが爲め各國政府に提議して第一回の萬國會議を佛國巴里に開催し次いで第二次會議を瑞西國ベルンに開會し遂に萬國郵便聯合條約を締結せらるゝに至れり之れが爲め各文明國相互間にては僅少の郵稅を以て郵便を發受し各國民の利便を享有し得ること少からざることゝなれり瑞西ベルンには萬國郵便の聯合總理局ありて聯合郵便に關する諸般の事務を整理し居れり同地には又萬國郵便聯合に關する記念碑あり其記念碑の意匠たるや岩の上に地球の形を示せる圓形の石を以てし此地球をば五人の美婦人にて取り巻ぎて各婦人は互ひに非狀を手渡しつゝあるものにて五人の婦人は五大洲を意味せるものなりご云ふ同記念碑の所在地は一の名所こして旅行者の來遊するもの少からずこ云ふ

印度郵政の困難

凡そ各國の郵政にして印度の如くに困難なるもの少し同國は其疆域極めて廣大にして國語の數のみにても百五十餘種の異なれるものあり國中には虎豹其他の猛獸の害多く又匪徒の類も少からず其他暴風、洪水、落雷、山崩れ等の天災頻々たるのみならず疫病の流行甚だ多く或る地方にては强盜群賊を極むる爲め郵便局の移轉を斷行せざるべからざる場合さへありご云ふ以て印度の郵政の困難なる一端を知るべし印度にては郵便の配達は小學校生徒を利用するここなるも其配達の面倒なるこきは子供のこゝて郵便物を池沼の中に投棄するここさへありご云ふ完全なる配達方法を採用するここは經費多大ごなるべく然らざるこきは斯の如く郵便物の亡失あり又以て印度の郵政の困難なるを知り得べし

邂逅 佐々木峯雪

十九 袖乞ひ(五)

隣は繇屋酒に傾いて、賑けるやうな中を『四國八十八箇所巡拜同行二人』こ記した晒木綿の著物を被た二人の行者が、憫るさうに門を通り拔けた。

『神樣だ神樣だ』こ庄吉は紳士の後影を見送つていそして空を仰いで見て

『もう晩の青物仕込む時分が來た』こ獨り言のやうに云つて、やがて自分の宅へ歸つた。そして請に厚く人々から貰つた八十錢の錢こ紳士から戴いた餅の殘りを、叔父の前へ全部出さうこ思つたが、

『いくらあつたつて叔父さんには駄目だ』こ思ふこ、今表戸に掛けた手を急に引いて、巾着の中から五十錢の銀貨を一つ摑み出して、それを有り合せた新聞の古紙の片に包んで、垢沁んだシャツのポケツト深く押し込んだ。

『斯うして居れば、雨の日惡んで下さる人が少くつて、一間にならないやうな時出して、叔父さんに渡す事が能きるい、さうしようさうしよう』

庄吉は獨り呟いて裡へ入らうこした、裡に惣兵衛が四邊一杯に並べ茶碗こ取り亂した中に大胡坐を掻いて一人の見馴れ無い女こ話合つて居た、女は二十四五であつた。

『實は此間、中學校の横合を通り掛りますこね、年の頃十歳位の子が來つゝ葉を南方の籠に持つて、流れる汗を拭きながら惠比須町の方へ小走りに行きますので、はてなんだつてあんな年齢も行かぬ子が荷ひ八百屋などするのだらうこ思つてね、幸ひ其邊に近所の煙草屋がありますんで、其處へ入つて聞いて見ますこ、彼の子は今宮の水崎町の角の路次を北へ入つた惣兵衛さんこ云ふ宅の庄吉こ云ふ子で、あゝして朝からせつせご働いて、六十餘りの酒好きの老爺さんを養つて居る不憫な子供ですのでわたしの宅や每朝晩缺がさずに此の子のを買つて上げるんですこ聞きましてね、わたしほんこに可哀相こ思つて………』

女は云ひ難くさうに云つて、側に置いた風呂敷包みを解いて、一枚の美しい單物こ白いシャツこ、いくらか封じた紙包みを差遠へ差し出した。

『誠に失禮ですけれご、これはわたしの心なんですから庄吉さんに著せて進げて下さい、それからこシャツの上に載せてあつた紙包を取り上げて『是はほんの紙ばかりですが、庄吉さんになんぞ好きな物でも買つて進げて下さいまし』こ惣兵衛の前へ押しやつこ押し出した。

『やゝ、それは〳〵こ遠寄つて、結構な物を誠にはや、夢のやうでごますな。庄坊も歸りましたら悦ぶこつてご有うまさうわい、ま遠慮する筈ぢやが、折角のお前さんのお心ぢや、實は無いでお前さんのも氣が濟むまいで、遠慮なしに頂つこきますわい』

惣兵衛は表口に庄吉の居るのに氣が附かない、手早く紙包を手に取つて、指の頭で中を探るやうに收めていにつこり笑つて[illegible]れた。

『ごうも見ず知らずのお方にこんなに戴いちや、いやもう勿體無うござりますわい』

『ほんのわたしの心ばかりです』

笑つて庄吉さんに進げて下さいまし』

泣かされまして實は斯うしてお訪ねしましたんせすわ』こ女は凉しい聲で云つた。

『さうかいな、それは〳〵能うこそ此吋に訊ねて下さつた、それぢや何ぢやな、お前さんは庄吉が不憫さうぢやこ云はつしやるのぢやな』惣兵衛は頭を突出して云つた

『はい、わたし庄吉さんさか云ふ其子が不憫さうに思ひましてね』

『それぢやつたら何だらうな、あの庄坊の野郎に何でても施してやらうこでも思うて、あの來て下さつたのぢやらうな』惣兵衛は變な日附で覗き込んだ。

『別に』女は口篭つて『大した事も能きませんが、わたしが子供の[illegible]けしました時は、破れた著物の[illegible]

◇大懸賞社告◇

懸賞金百五拾圓也

投稿締切 十月二十日

天高馬肥、燈火將に親むべきの候、吾人の詩壇亦寂しからず、我社は此の好季に際し、我十萬愛讀者諸君の爲に詩想の深きを添へんが爲左の懸賞を以て汎く江湖に錦心繡腸を募集す希くは御投稿あらん事を希望す

投稿者諸君は左の規定及課題に注意せられよ

論文	『宴會改良に就て』(五十字詰二百行以內)	一等 十五圓 二等 七圓二人 三等 四圓三人		社內選
漢詩	『秋懷』(七言律絕)『四時圖』七言絕句	一等 三圓 二等 一圓二人 三等 一圓三人		京都 高野竹園先生選
俳句	『初冬』『しぐれ』	一等 三圓 二等 一圓二人 三等 一圓三人		目池選
川柳	『破』『記念』	一等 三圓 二等 一圓二人 三等 一圓三人		東京 井上劍花坊選
和歌	『多の朝』『落葉』	一等 三圓 二等 一圓二人 三等 一圓三人		東京 尾上柴舟先生選
小品文	(隨意)	一等 三圓 二等 一圓二人 三等 一圓三人		社內選
短篇小說	(隨意)(五十字詰二百行以內)	一等 十圓 二等 五圓二人 三等 三圓三人		社內選
情歌	『室』『小春』	一等 三圓 二等 一圓二人 三等 一圓三人		東京 平松天鼠選
一口噺	(隨意)	一等 三圓 二等 一圓二人 三等 一圓三人		社內選
寫眞	『晩秋』	一等 三圓 二等 一圓二人 三等 一圓三人		社內選

以上の作物は一人全部應募は自由なるも漢詩、俳句、和歌、情歌一口噺は一人各三作以內小品文は一作迄、短篇小說及論文は各人各一作に限り官製一人二枚以內こす應募原稿には表封に必ず懸賞募集原稿ご朱書せられたし發表は十一月上旬時日は追て發表す入選以外のものも佳作は選外佳作こして京城日報紙上に掲載す賞金は發表ご同時に發附す

京城日報社

送國分司法部長官游支那 安永春雨

滿腹經綸富金科。萬里星槎興若何。鳴佩朝辭羊腸驛。閒騎兄弟漢山河。長江滾滾潛龍少。大陸茫茫過雁多。何處風光尤適意。白雲紅葉入詩歌。

偶成 鎗生芙蓉

秋歸日 詞氣流勁、感慨移之、
朔北風雲急。秋來羽檄紛。營前多喜氣。一醉壓三軍。
秋歸日 恍如聞進軍曲、身躍肉動、
進軍如破竹。隨劍渡滄瀛。踏飛秋鐵蹄。旌旆擁敵營。

過句溪洞天地在東小門外 蟾生芙蓉

詩夢過石上。石上白雲生。忽作千山雨。新涼滿四楹。
秋歸日 古意古調、殆可誦、

新秋 內田六涸

炎暑漸去野棠稀。風動新涼白露明。一葉飄秋梧葉影。草蟲唧唧促吟情。
秋歸日 風韻宛在目、

新秋 永井鳥石

塘上荷花名利場。金風七月入山莊。夜靜壁末到虫聲滿。梧葉翻秋[illegible]

秋日 似宋人小詩 大石松逕

[illegible]

發行兼編輯人 奧田[illegible] 印刷人 小川三之介 發行所 京城大平通一丁目 合資會社京城日報社 [illegible]

新領土ノ誇

高麗毛織發賣

黑色高麗毛織(巾二尺八寸幅ニ拾時付)壹圓貳拾五錢
霜降高麗毛織(巾二尺八寸幅ニ拾時付)壹圓參拾錢
其他色物各種アリ目下試驗中

詰襟服オバーコート、獵服地等ニハ殊ニ御恰好ニテ一著分地質代六圓貳拾五錢位ヨリ八圓迄ニ御座候

地方御注文ノ場合ハ特ニ御便宜取計可申候[illegible]又ハ鐵道小荷物ニテ迅速ニ御屆ケ可致候

永登浦 朝鮮皮革株式會社 振替貯金口座京城九八二番 電話永登浦二五番二六番

京城南大門通一丁目一〇番地 朝鮮皮革株式會社販賣店 電話一〇八二番

奉天小西關小什字街一〇三 朝鮮皮革株式會社販賣店 電話一〇三

合宿舍監兼夜學教授を求む

學校教師又は官吏其他の士にして當社合宿舍監ご爲り夜間貳時間宛社員に普通學を教授する精神家を求む委細來談を乞ふ

京城府黃金町一丁目 不二興業株式會社

婦人世界 秋季增刊

節約生活號

□家計費節約實驗 衣服、食物、社交上の費目中よりムダを省いた生きた實例
□時間節約實驗 一日に三時間以上を生み出して多くの仕事を爲した活實例
□資澤に見えて其實節約
□節約ご吝嗇の別
□節約ご趣味生活
□時間ご勞力ご金錢の節約
□貯金を利廻りよく運用する利殖法
□子供に家事の手傳をさす實驗
□月給四十圓で三千圓を貯蓄した手の技ある妻の實驗
小杉天外 靈・鐘
□能率を增進する家事の取方
□女中の能率を增進する秘訣
□時間を有效に使ふ工夫
□清貧信者の生活
□余の安價營養生活
□嫁入支度の節約實驗
□有利な內職實驗
□一日三食にて五錢の惣菜
難病新療法 如此病ある人は見よ

[illegible] 實業之日本社 [illegible]

監督及有給社員招聘

日鮮人男女ヲ問ハズ月收五拾圓以上確實 希望者は至急履歷書携帶來談又は郵送(返信料付)

京城本町二丁目二十八番地 日本勸業信託株式會社出張所

朝鮮總督府編纂

朝鮮大地圖

本圖は總督府土木課の調査に添り其正確なるは言を俟たず[illegible]

發賣元 京城大平町 振替二〇〇番 京城日報社代理部

火災保險業務開始

當會社取扱に係る東京海上火災保險株式會社市內副代理店を今般新田耕市商店へ依托仕候間當社同樣御引立願上候

三井物產株式會社京城支店

今般東京海上火災保險株式會社京城府內副代理店を引受け申候間何卒多少に不拘御用命願上候

京城櫻井町壹丁目百卅六番地 新田耕市商店 電話五七〇番、一八八一番

輕便粉劑 消火器

代金二圓五十錢より各種有り

京城本町二丁目 熊平支店 電話長六二四番 電話三二一五番

冬の御支度に忘れてならぬ

福助足袋

今年も冬暖くて丈夫な福助足袋のみをお穿き下さい

發賣所 [illegible]

酸素吸入器

オキシヘーラー

▽實驗例說明書贈呈△

▼オキシヘーラーの顯著なる效果 [illegible]

▼靈妙なる酸素應用の本器は[illegible]

▼特色 [illegible]

□正價金參拾五圓□

東京市牛込區藥王寺町三十一番地 オキシヘーラー獎勵會 [illegible]

◇墺國提議内容
結局聯合國は默殺か

墺國の提議は十日外務省に到着せる事既報の如くなるが該提議の内容は單に講和豫備會議の開催を希望すとの意味にて西班牙政府は墺國政府より同國駐劄西班牙大使館に右提議方の依頼ありたるより之れを逐附すとの意味を附加しあり右提議に對して米國は直に拒絶の回答を發せるが米國の回答は或意味にて聯合國を代表せるものとも解せらる可く殊に其後獨逸の提議もありたる事なれば各國とも墺國の提議は之れを默殺し何等回答を發せざる方針なりと(東京特電)

◇獨國内流説盛ん

獨紙の報ずる處に據れば瑞西に在る伊太利及び墺太利兩國代表者間に於て領土問題解決の爲め非公式の商議進行中なりとの流説獨墺國内に於て盛んに行はれつゝありと報ぜり(巴里電報)

◇一層獨逸を痛撃せよ

米國參謀本部並に大藏卿マカーズ氏を初め政治界智識階級の人物孰れも一樣に聲言して曰く『戰爭は未だ終結せず、獨逸には更に一層大なる痛撃を與ふるの必要ある可し』と(紐育電報)

◇紐育戰時株瓦落

九日午後紐育株式市場に於ける戰時株は一齊に瓦落を演ぜり(紐育電報)

◇土國降伏せん

倫敦來電=土耳其は今後四十八時間内に降伏す可しと豫期さる(紐育電報)

◇獨軍アルゴンヌ撤退

獨軍はアルゴンヌ森林を撤退しつゝありと解せらる(アムステルダム電報)

◇ルーデンドルフ元帥も辭職

米國々務省に達したる報道に據れば辭職の報ありし獨のルーデンドルフ將軍は神經衰弱の爲め司令官の職を辭したりと(紐育電報)

◇獨艦隊支配と佛紙

佛紙は論じて曰く獨逸が露國黒海艦隊を支配しつゝありとの報は聯合國を憂慮せしむる動機なりされど這は毫も懼るゝに足らず唯事態に鑑み地中海に於ける聯合國海軍の總司令權を佛國ゴーシエ提督に一任するの必要を生じたるに過ぎず(巴里電報)

◇大總統事務處理

八日廣東國會は大總統の事務を軍政府の手にて處理する件を討議し大多數にて同案を通過せり(廣東電報)

◇國務院代理派遣

廣東軍政府は國會より國務院の代理を派す可く伍廷芳氏を總裁となし大總統の主權を代行せしむべしと(上海特電)

◇陸幣制局總裁

陸宗輿氏は今回幣制局督辦を兼任し幣制局總裁を命ぜられ曹汝霖氏交通總長に任命されたり(北京特電)

◇聯合艦隊解隊

九月一日編成せる聯合艦隊は各種訓練も一日終了せるを以て來る十五六日頃解隊し山下司令長官以下原隊に復歸す可しと(東京特電)

◇東市株式相場

十二日の東京株式市場は鮮銀株百九十七圓五十錢同新株四十五圓八十錢南滿株百三十三圓同第二回新株九十八圓五十錢同第三回新株五十八圓滿洲製糖株十八圓朝鮮製糖株十三圓朝鮮製粉八十七圓五十錢京城電氣五十七圓五十錢朝鮮瓦斯二十二圓なり(東京特電)

◇小川氏辭退

鐵道院總裁を小川平吉氏の鐵道院總裁説ありしも氏は斷然辭退せりと(東京特電)

◇全露政府代表

べ氏一行入京 全露政府代表者ベデーレフ氏一行は十一日夜東京驛着列車にて入京せり一行は近く渡米の筈也(東京特電)

◇尾崎男危篤

尾崎三良男爵は目下肺炎にて危篤に瀕せり(東京特電)

◇内田氏の寄附

神戸の内田信也氏は來年神戸市に高等學校設置さるべきを以て敷地二萬四千坪並に建築費等として一百萬圓を寄附する旨十一日文部大臣に申出でたり(東京特電)

◇上林長官通過

上林咸北道長官は十二日朝琴平丸にて來釜後歸城に向へり(釜山特電)

◇前田大佐消息

前田高等警察課長は十二日朝琴平丸にて東上更に〇〇に〇〇〇と(釜山特電)

◇加納中佐著任

新任羅南騎兵第二十七聯隊長加納中佐は十二日朝琴平丸にて著任せり(羅南特電)

◇工兵大隊長歸任

會寧工兵大隊長は琴平丸にて十二日歸任せり(清津電報)

◎植民地豫算
前内閣計畫踏襲

明年度特別會計に屬する各植民地豫算中朝鮮、臺灣、樺太兩總督府の概算書は既に去る五日を以て拓殖局に提出され關東都督府及び樺太廳の概算書も亦一兩日中には提出の運びとなるべきが是等は何れも前内閣當時編成に係り而して現内閣は植民地豫算に就ては全然前内閣の方針を踏襲する事となり居れる由にて別段之を變改するが如き事なかるべしと

△來年度新事業 の主なるものを舉ぐれば釜山築港の新營、臺灣日月潭の水電官營及び樺太の石炭採掘公許等なるべく釜山港は歐亞交通の中樞に當り海陸の設備に一層の完全を要するものあるを以て來年度より大規模の修築を爲さんとするもの臺灣の水電官營は多年調査の結果愈着手すべく決定せるものにて日月潭は南投廳下なる海拔二千四百尺の高地(水社庄)にある周圍約四里の湖なるが該湖水を利用して水力電氣を起し廣く之を供給せんとするもの又樺太石炭の採掘は川上、内淵、泊居等の流域を始め各地に散在する炭田を公許せんとするものなり尚ほ拓殖局來年度の施設としては拓殖監察官(約二名)の新設及び在京各殖民官衙を統一せる新廳舍の建築費(約五十萬圓の一部)等なるが更に古賀新長官の企劃として來年度に於て各殖民地及び

滿蒙に對する移民 を獎勵すると同時に寺内内閣の企劃せる大正九年度に於て獨立したる拓殖省を設置せんやの方針なり(東京)

◎西伯利新政府
―協定覺書發表―

浦鹽來電=七日東京著電=西伯利政府首相ウオロゴトスキー氏とホルワット將軍との間に九月三十日附を以て協定調印せられたりと稱する覺書は十月六日浦鹽各新聞に發表せられたるが内容左の如し

一、國家的利益の爲めには唯一の全露西亞政府の存立を必要とす

二、西伯利政府及びホルワット政府の政綱は互に關聯する處なし

三、前記の事情により此等兩政府機關の併合は希望する所にして且つ最近の中に實現せられざるべからず

右併合の理由として大要左の通り聲明せり

△地方に於ける 各政府の聯合共同してはじめて秩序を維持し得るの狀態にあり西伯利軍隊の編成には巨額の出費を要せるを以て階級の差別なく人民各自の犧牲と覺悟とにより政府の意圖を遂ぐるを得べし西伯利政府樹立に當り人材の不足を感じたるが細國政府は憂國家の一致協力に俟たざるべからず此の見地より

△西伯利政府は 其の政綱を宣佈すべく黨派の區別無く經驗ある人材を選ぶこととし全露國的唯一の政府の設立の爲め東西西伯利の各政府と交渉を開始せる旨宣言せり來浦早々我が政府はホルワット政府との間に全露國的政府承認の問題に一致點を得兩政府の政綱が互に關聯し居らざると判明せり

△政治的野心を 有せざる兩政府は國復興の要義は左の主義に在るものと認む

一、一般選舉法により全西伯利會議を可成速に招集し且つ同邦による全露國憲法議會招集に盡力すること

二、全國民の同權及び信教の自由を復活すること

三、聯合國と共同して對獨戰線を復活すること

四、軍紀嚴肅にして人權を尊重する政爭外に立つべき軍隊を編成すること

五、法律に從ひ工業の復活勞働保護を圖ること

六、勞働問題は憲法會議により決すること

ホルワット政府ノ或る閣員は全露西府に入閣し他のものは西伯利政府中央及び地方政況の責任ある地位を占むべく此等問題はトムスクに於て決すること實際併合の樣式を終る迄はホルワット將軍は西伯利政府と共に充分一致して努力する事(東京)

◎我國民活動の能率を増進せしむる方法(七)
嘉納氏の講演

國家と組織する

國家の活動と云へば國家の機關即ち政府の活動となるけれども私の今説かんとするのは日本の各個人が國家の一員としての活動に就てゞある。即ち國家の爲に各個人の活動を最も有効ならしめ又其能率を益増進しなければならぬといふことになる。此處で吾々は活動の目的は何かと申すと前に述べた文化の發達を助けること兵を强くすること、國富を増すことである。國民の活動は此大目的に副ふ樣に努めなくてはならぬ。此處で私は斯う云ふことを申上

及ぶ限り多方面

私は先づ色々の議論もあるであらうが、就ては哲學者宗教家などの方面から見ても各自が其の所を得る樣になければならぬ。是に於て何か據り所がなければならぬ。生活或は職業を定める上に於て何産業を自覺したならば各自が平素の勤し又其能率を益増進するの必要の目的に副ふ樣に最も有効に活けて見度いと思ふ、既に吾々は國家の説を合した上殊に申すも最も簡單に云つて而して學者に對しても亦俗人に向つても承知せしむる爲めには『人間は自己を完成し世を裨益する』ことを標準として働くべきである、と所う云へば宜からうと考へる、己を完成すると云ふは即ち第一自己の生命を保ち健康を進め知識を高め精神と肉體の兩方面から自己の發達を計る、己の

社會人類の爲め

必要を充し幸福を得る爲めに財産を作ることも己を完成する所以である。健全なる身體、健全なる精神狀態、それに依つて得た所の財産、それ等の結果として生ずる幸福、是等は完成せられた自己の内容である。第二に世を裨益すると云ふことは自分の周圍を始め社會人類の爲めに計ると云ふ意味であるから己を完成すれば既に一部分世を裨益して居る譯である。世を裨益する爲めに自己を完成しなければならぬ、自己の完成は世を裨益することに依つて初めて十分に遂げられるのである。故に双方絶對に分離することの出來ぬものである。我國民の各個人が己の身體を丈夫にし智徳を進め財産を殖す、さうしてそれを以て國家の爲めに盡さうと云

安心立命を得る

ふ考へがあつてこそ其生活に根據を持つことが出來る。從つて我國民活動の能率を増進し日本帝國を繁榮に導くことになる。斯う云ふ工合にならなくてはならぬがさて國民各自が此事を十分了解し實行する爲めには先づ人間として安心立命を得ることが必要である。商人程大切なことは無いと云ふ事に氣付くことが必要である。商人として働いた後には只金を儲けようと云ふ目的であつたならば金が溜つた時にハタと困るに違ひない、軍人で此修養が無かつたならばニッケル彈の雨が降り出した時に今更戰爭が恐くなるであらう、人間は何時でも單に財産を殖すとか、權勢の地位に上るとか云ふ事だけが目標であり其れに依て滿足を得ようと思つてもそれは駄目である。

◎京城局交換拂渡

京城郵便局九月中の京城手形交換所に於ける、拂渡状況を聞くに内國爲替十九萬六千四十五圓、外國爲替百七十七十三圓、振替貯金百十三萬六千八百四十四圓此の拂渡總額百三十三萬三千四百三十圓にして之を昨年同期の七十二萬四千六百五十三圓に對比するときは六十萬八千七百七十七圓の増加を示せり

◎鐵道倉庫在荷

本月六日現在の調査に依る沿線各驛受託貨物の價格左の如し

釜山倉庫	七一、六五八圓九〇
草梁倉庫	一六二、八〇三圓五一
大邱倉庫	一〇六、八一二圓〇〇
湖南倉庫	一六三、八五七圓一五
其他倉庫	四六二、七四〇圓九七

右保險料は當分の内共同貨物引受せて九十五萬圓以上なりと

◎野砲兵隊と馬

羅南野砲隊に特設せられある朝鮮馬調査班に於ては試験用馬として小林調査班長及び同班附大塚二等獸醫は九月下旬慶興郡に出張要調數四頭を購入して歸羅せるが同班にては更に南鮮産馬購入の爲め小林班長大塚獸醫は慶尚北道大邱へ出張する筈なり尚調査班に於ては咸鏡北道に於ける馬匹調査の爲め小林班長以下三名各將當區域を定め十月下旬より明年三月の間に於て道内全部調査執行の筈なりと(羅南)

◎市街地建築取締

從來朝鮮に於ける市街地建築取締法の適用を受くるは京城のみなりしが今回右施行地範圍を擴大し全鮮十四箇所の市街地を指定する事となり近く總督府告示を以て發表さるべしと

◇政務總監法相説
目下交渉中―承諾次第親任

司法大臣專任に就いては目下來京中の山縣政務總監に交渉中にて同氏承諾次第親任さる可しとの説あり(東京特電)

◎京畿道果樹收穫

京畿道管内に於ける大正六年中の果樹作良品種の栽培數及び收穫高に關する其筋の調査に據れば苹果は紅玉、國光、倭錦、祝、柳玉、旭、鳳凰卵、白龍其他品種合計樹數二十萬八千三百八十本にして此の收穫高十六萬九千八百六十五貫を算し梨に在りては長十郎、晩三吉、明月、今村秋、西洋梨、其他品種合計樹數十六萬二千四百八十四本にして此の收穫高十七萬二千七百九十二貫を示し葡萄に在りては栽培樹數十萬九千六百十九本に對し五萬五千七百十四貫の收穫あり栗に於ては七十四萬九千六百二十三本の栽培樹數に對し百二十七萬九千五百三十七貫の收穫を示せり而して當年は概して各果樹の樹數は増加せしも獨り葡萄は稍寒害又は病蟲害を被りて減少の傾向を示し其の收穫高に在りては寒氣凜烈なりし爲め樹勢衰弱せしもの尠からざりしのみならず晩春降雹の爲め花芽の枯死せるあり或は病蟲害水害又は旱害を被りたる結果苹果及び葡萄は其の成績思はしからず前年に比し減收せるも梨及び栗に在りては幾分の増收を示せりと

◎京畿春蠶金使途

京畿道管内に於ける本年春蠶期に一般養蠶者の收得したる繭代金見込總額は四十八萬四千九百八十二圓四十五錢四厘にして此代金の使途狀況左の如し

▲生活費(?)入二萬五千五百三十七圓三十二錢▲家事費及負債(?)入一萬六千四百十九圓五十三錢▲土地買入四萬七千七百圓▲肥料買入九萬二千四百三十五錢▲各種返濟九萬一千四百九十一圓二錢▲稅金納入三萬六千八百五十三圓八十錢▲其他雜費…十九圓五錢▲貯金三萬七千六百六十五圓六十三錢▲寄附金五萬九百七十八圓七十三錢▲普通資金十二萬五千八百一圓九錢▲其他殖品六萬八千八十八圓五十五錢四厘

右の内蠶室の築造及び買入費は蠶業資金中より支辦するを以て此内に含み居らず又税金中には一般公課を含み貯金中には貸付金をも含み居るものなり

◎本年京畿綠肥

大正七年京畿道管内綠肥作付反別は青刈大豆二百九十七反九十九反なり此收穫七萬一千四百十九反にして

◎京畿米豆檢査

七月中京畿道管内に於ける米豆檢査成績狀況を聞くに玄米檢査總數一萬五千七百八叺内合格一萬一千八百二十七叺中白米檢查總數五千百四十八叺内合格二千六十七叺あり大豆檢查總數は二萬二千百九十叺にして内合格二萬一千六百四十八叺ありたりと

◎露貨換算率變更

京城鐵道にては本月十日より日露貨物聯絡運輸に適用す可き日露貨幣換算率を百留に付六百留と改正し京管局に通知ありたり

◎觀兵式豫行

軍司令部にては天長節祝日に舉行すべき觀兵式豫行を十四日午後二時より龍山練兵場に於て行ふ可き旨其筋を昨報すべし

◎師團長歸任

羅南第十九師團長は十二日午後九時十分着列車にて歸任せり

◎波多野氏入京

三井合名會社理事波多野承五郎氏は十二日夜入京朝鮮ホテルへ投宿せるが氏は十五日朝退京途中金郊植林地を視察し元山へ向ふ可しと

◎馬詰東拓總支配人 馬詰東拓總支配人は十二日午後九時十分南大門着列車にて門司より歸任せり

◎佐賀商業學校生徒 佐賀商業學校生徒一行三十五名は朝鮮各地方見學の爲め來る二十日釜山著二十一日朝南大門着列車にて入京京仁地方を見學し二十五日釜山を經て歸校すべしと

◎通俗講演會

堀井小學校にては十三日午後七時半より洋視察を終へて歸京したる小河原視學官の『南洋視察』と題する通俗講演あり尚當夜は吉田幸雄氏の乃木大將傳の講演ある筈にて一般の來聽を歡迎する由

人事消息

▲飯島堪一郎氏(全羅南道技師)十二日夜入京龍山へ
▲森脇一郎氏 中村組店員 同上 ▲三宅川百太郎氏 三菱重役 同日退京
▲大島米三郎氏(新任慶北第二部長)十四日夕同處赴任の豫定
▲村田鑛務課長 咸鏡南道新興所在總督府保留金山檢分の爲め出張中のところ十一日午後六時五十分歸京

鳥瞰雜俎

▲獨軍が戰場でやつて居る掠奪の種の蠻行は今更事新しく云ふ迄もないが獨逸では學者や宗教家迄が此の蠻行に對して自分勝手の理窟を附け野蠻を是認する事に盡力して居るの文字の滑稽千萬である▲其一例を茲に紹介せんに其はドミニカン派の僧正アノリユンノルと云ふ坊さんが發表して居る論文であつて之も御多聞に漏れぬもので大要五箇條が骨子となつて居る▲上官の命令の下にある兵士の行ふ掠奪は道徳上の罪惡ではない▲兵士の自身的に行ふ掠奪も非難すべきにあらず彼等は之を辯解すべき十分の理由が有す▲掠奪行爲が神の選民によりて行はれたるは舊約聖書に其例あり▲掠奪は國際法に違反するも現在の戰爭に於て國際法は其存在を失へり▲敵軍は既に幾多の不法行爲をなせり斯る國民に對しては何事を行ふも不法に非ず▲てな事であるが上官の命令なら泥棒は天下御免だ泥棒にも申し譯はあるんで申し譯のない泥棒が何處にあるかい▲神の選民とは獨逸の兵士の事だらうが神も鬼神の魔神でサタンだらうサタンの選民とすれば獨兵には最適當した名稱だ▲國際法は此の戰爭には存在して居らぬとは隨分亂暴な話で自分勝手も茲に至つて殆ど其極に達して居る▲聯合軍に對しては何の樣な事をしても構はぬ隨分無法な申樣だ宗教家迄が是だから獨逸には最早文明はない▲斯う云ふ手合だから木葉微塵になる迄叩き付けねば駄目だ講和などは却つて獨逸國民の將來の爲にならぬ▲英斯科に『飢たる一團』とか云ふ軍隊が出來た即ち餓鬼軍である▲此の珍妙不思議な新軍隊は勞働者や百姓連から編成されて處嫌はず手當り次第掠奪をやる▲チェック軍と戰つて負けるとさ乾度『お前の背後には西伯利パンが控へて居る』と云ふ相な▲百出夜行でなくて獸行は今や露國が本家本元となつて居る

對菊偶感一首

江南

淡陽城裏菊花新。黄白家々競麗珍。憐殺昔時高士倨。如今鄙陋折腰人。人間宦吏沒風流。春忘看花誰識秋。地菊傲霜離落菊。滑姿媚却俗應浮。

公示催告

京城府本町二丁目五十八番地
申立人 合資會社本多次郎

一、當官設保税倉庫藏置貨物預證券 第六號、第五號、水銀一壺…(以下判讀困難)

大正七年拾月拾日
京城地方法院

物品賣却

第一號 古鐵類
第二號 古制服類
第三號 客車
第四號 …

大正七年十月十日
南滿洲鐵道株式會社
京城管理局

最新刊

金剛山探勝案内 定價貳拾五錢
會計の智識 一、七〇
世界各國智識の庫 一、九〇
應用問題化學試驗法 二、七〇
湖沼めぐり 一、二〇
解剖的な ひ談 一、〇〇
此鑛物 小野 二、五〇

化學に關する原書新著

鮮の冬と防寒法 三五
わが愛兒の爲め 一、二〇
千鳥が淵 一、三〇
文藝新語辭典 五五
英語は斯の如く獨習せよ 八〇

結婚式案内

聞かずにわかる 附媒介人の心得 四〇

大阪屋號

京城本町

富の道しるべ

山縣五十雄 村上唯吉 共著
京城太平通 振替京城二三〇

京日案内

女事務員募集

家庭教師

店員に女事務員

齋藤商店

ほねつぎ 柔術道場

一切の治療御依頼に應ず
明治町

内科 胃腸病

診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話 二三七 二九 一九〇 番

かぜ ねつ

ハカリ印
かぜを治しねつを解くにはハカリ印のヘブリン丸に限る……
ハカリ印のヘブリン丸が速かにねつを解きかぜを治すことは滿天下の實地經驗で明白である

定價十錢以上 家庭用五十錢、一圓
大阪 合資會社 参天堂

周易家相

京城明治町二丁目
岡村介石

苗木と種子

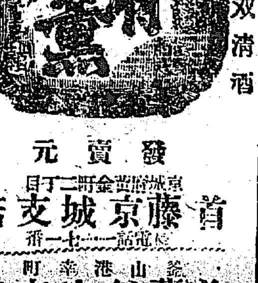
苗木 赤松、黑松、栗、櫟、落葉松、山赤楊、ニセアカシヤ、桑接木、桑實生、桐、檜
種子 黑松、赤松、櫟、栗、ニセアカシヤ、樅、落葉松、ハンノキ

右の通り持合せ居り候間御用命被下度品質の精良と發送の迅速を期し最安價に御注文に可應候

京城南大門外
朝鮮勸農株式會社販賣部
振替口座京城三七八番・電話長四〇二番

醇良無双清酒

衛生無害品質無双



發賣元
京城府黃金町二丁目
首藤京城支店
電話一一七一番

釜山港幸町
首藤釜山支店

木炭 平壤栗

(卸小賣)
根炭 白炭 山成り德用品
手提德用品虫喰なし

御用の御方は電話三〇八番に御用命被下候へば即時配達可致候

京城本町三丁目
貿易雜貨商 藤富國太郎商店
電話三〇八番 振替京城一七七八番

◎郵貯預金制限

◎課題懸賞募集規定

仁川期米 十二日の十二月限

仁川米豆取引

[illegible]

◇蘭屋殺しの情婦

忠信の秘密（四）

興味深い彼女の役割

彼女は舞臺では不女優であつたが
樂屋裏では正しく名女優であつた
舞臺を退かせた某法學士

好んで惡形

◇彼女は惡形に扮すれば充分に惡が利かせ得た

忠信の前身女優片岡濱子が帝劇の舞臺を踏んで居たのは前後四箇年間であつた。その四箇年は彼女の女優生活として決して永い間ではなかつた。文藝を理解する修養も、舞臺上の技術もまだ充分に磨かれない間に彼女は帝劇の舞臺から退かねばならないことになつた。律子、濱久子、浪子などのやうに世間からの評判を取らない中に舞臺を退いて了つたが、最も興味が深いのは演出役割の時に彼女は好んで惡形に扮して居たことである。そして惡形に扮すれば充分に惡を利かせ得る腕があつたのである。

樂屋の彼女

彼女は樂屋の中で男の擬態を研究して居た

彼女は既に其時代から毒婦、妖婦、奸女、惡婆等に扮して甘い男の血を啜り弱い女を虐待するやうな役が好きであつた。斯うした事を好む彼女の血管には怖ろしい毒血が流れて居たのであらふ。四年間の女優生活の中に彼女は歌舞ご英語ご文藝ご花輪を贈る男ごを知つた。其中で一番彼女が興味を持つて居たのは恐らく花輪を贈る男の研究であつたらう。舞臺上の技巧に於いては律子や濱久子に劣る彼女は樂屋裏の秘術に於ては正に名女優の價値があつた。

□東宮行啓

聯合艦隊御見學の爲め

皇太子殿下は横濱碇泊中の聯合艦隊御見學の爲め十二日午前八時四十分御出門横濱に行啓ありたり（東京特電）

妖婦の特性

彼女は肉體美と肉聲美とを以て男を惑はした

彼女は美人とは云へないかも知れぬが斯うした妖婦に共通な資格を持つて居た。それは均齊を保つた肉體美と豊艶な肉聲美とを兼ねて居たことである。漆黒な髮と肉感を唆る囁い美しい肉聲を持つて居たことである。改めて云へば彼女は肉體美と肉聲美とを持つて居た。之は現犯者の誇張や潤色ではない。現に病魔に冐されて入院中であつた時の彼女の肉體でさへ其の美しさは醫師や看護婦に嘆美の聲を擧げしめた程であつた。彼女の獨特のヤインスが多くの男を惑はしたのも無理はない。

戀の法學士

彼女を戀ひ慕ふ男は幾人もあつたが其中で[illegible]

まで彼女が斯うした女優としての技藝ご女としての蠱惑の秘術に注ぎ込んだものは無論澤山あつたに相違ないが其中で法學士で辯護士をして居た某氏は最も思ひを彼女に寄せた一人であつた。そして其の法學士はこう〳〵女を舞臺から退かせて自分の妻とすることになつた。

◎都會も地方も

景氣が好い

勸業債券殆ど賣切れ

本月二日から賣出した勸業債券は豫想外の好景氣で本店手持の分は既に賣切れとなり東京市内の各代理店、郵便局所持の分も

◇是亦 殆ど賣切の狀態である。是れに就て勸業銀行の清水債券課長は語る『前の六十九回の分は辛うじて賣切つた樣な次第で有つたので今回の分の賣行きは如何うかと心配したが豫想外の好景氣で東京市内は無論六日各地代理店の中仕切の報告に據ると全國に亘つて大部分賣切れ多少の剩餘のある所も茲一兩日中に全部賣り切る見込だこの事で案外の

◇成功 であつた、それから今回の賣出は零細な資金を吸收すること云ふ政府の方針に據つて努めて地方の炭坑地、鑛山地、工業地等へ散布したが是等の方面は非常な好景氣で孰れも飛ぶが如き賣行を告げた併し何ご言つても矢張賣行の一番多いのは都會で、都會の景氣は衰へ氣味だと云ふ豫想は今回の債券の賣行で當つて居らぬを

◇證明 した賣高の順は東京が一番多く大阪、名古屋、神戸之れに次ぎ地方では福岡方面ご福井方面が多い之れは鑛山や炭坑が在るので需融階級の好景氣の結果だご思ふ、要するに第七十回債券の賣行きの分布から想像すると都會も地方も押し並べて景氣の好い事が分明した、尙月賦販賣の債券居の零細から從來の如き大口に商賣人が滲つて往く

◇惡風 が無くなつたので一枚二枚と多數の人にあまねく行き渡る樣になつたのは債券賣出の方針から見て極めて良好な現象である前の樣に賣出日の即日に賣切れこならないのは斯うした商賣人が無くなつたからである』ご（東京）

◎特許局疑獄

益す擴大

更に二名收監

特許局疑獄事件は益擴大し十一日特許局事理官特許辯理士千布義雄特許局審理官補中川幸男の兩名も瀆職罪として十二日收監され目下取調べ中なり（東京特電）

◎哀れなる避難民

途中衣服を賣つて露命を繫ぐ
婦人や子供は何れも顏色蒼然

北滿軍從軍記者　早川磐溪

一行が三日午前ナ、ハ[illegible]ランシスキーに向ふ可しと[illegible]余が乘れる列車が三日午前[illegible]マラカ驛を通過せんこする際サマラ方面より避難し來れる二百人ルーマニヤ方面の避難民男女百五十名乘し居たるが、記者を見るやヤポンスキー〳〵と連呼しつゝ握手を求め言語通ぜざるにも拘らず

▼列車中に は婦人子供何れも顏色蒼然見るからに憔悴したる者なりしが彼等は途中衣服を賣りて食を攝り露命を繫ぎ來りたるものにて何れも襤褸を纏ひ居たり

▼手眞似を 以て獨逸より獨逸に迫害されたるも遂に難を逃れ來りたる旨語りたるが彼等は記者の出したる地圖を指しつゝ哈爾賓經由チタ以東は日本軍の恩情に依り食物を給與され始めて

▼蘇生の思 ひをなしたりこて日本軍の仁義の念の強きを切に賞揚し我々は日本に居住したきも日本人ご勞働的競爭は不可能なれば餘儀なくアメリカに向ふ事こせりこて別るゝに臨んで避難民は記者を取圍み握手を求め發車こなるやハンカチを振て見送りたり

▼在住民は 日本人が軍隊を出したるためなりこて日本軍を怨むものなきに非ざるは遺憾なり、殊に鈴木對軍隊この間に於ける貨物價格折合は非軍隊にても迷惑を感じ居るは飽迄も非國民的行爲なりこて在留日本人間にも惡評嘖々たり、由井はジャライノールの石炭を買占めたりこの風說あり

勇ましい運動會　鍾路小學校女子の薙刀體操
ご日之出小學校の川中島

從軍行

哈爾賓

▽物騷極まる

從軍記者　磐溪生

哈爾賓驛に着いたのは夜の十二時頃であつたが、驛頭の混亂は非常なもので、初めての旅行者は其異觀に驚かされる、灰色の支那兵、カーキ色の日本兵、楕圓形の帽章をつけたセ軍、露比須帽のチ軍、巡警などが銃劍を擔いで

◈右往左往 し支那の苦力が待合にゴロ寢をしてゐるかと思へば群集が雪崩を打つて、出入する、驛前には無數の馬車が織るが如く走つてる、さうした中を露西亞人がうろついて隙さへあれば、荷物を掻浚ふのだから物騷此上ない、東京の

◈記者團は 危くしてやられる處を警戒したため難を逃れた程で、一人旅で荷物を多く持つたら、危險ご思はねばならない、記者は幸ひにして盜難の厄だけは免れたが、何處のホテルを探しても室がないからこ斷られ、辛うじて常磐ホテルの

◈商品庫に 充てた一室に泊る事を得たのは午前の二時頃であつた、昨今の哈爾賓は何處へ行つても大入滿員で、餘程巧く立廻るか、軍隊側の紹介狀でも持つて行かねば悉く門前排ひこ覺悟して居らねばならぬ、それ丈け市中の景氣は素晴しいもので、新しく乘込んだ實業家は何れも家屋がないので困つてゐる、物價の騰貴は言はずもがな

◈戰爭目當 ての無資力者は到底生活が出來ないから引返すものも尠くない、要するに哈爾賓の現狀は混亂狀態にあつて、土地の人さへ何が何やら薩張り解らないこ言つてゐる

▽凱旋祝ひ

我軍殊勳を奏して歸る

第七師團第二十五聯隊は磯林大佐の率ゆる我軍は三日にかけて師團司令部所在地なる滿洲里に歸還したるが其の戰況を聞くに、白井支隊はウスリー線を正面より進みオリドイに於て

▼絶體絶命 の窮地に陷りたる敵兵四百裝甲車四輛を捕獲し同支隊より岐れたる内海中尉小川副官の率ゆる一隊は黑龍江を溯江しブレノーより上陸しオリトイの後方ルフロに進み敵の背後を斷ち殊勳を現はしたり全軍の

▼意氣衝天 の概あり、旣井師團長、參謀長、木村戒自大佐、篠原參謀少佐は之を迎へ三日正午よりニキチンホテルの樓上に於て凱旋諸將の勞を犒ふべく午餐會を催し同二時終了したり

▽買占說から

燃料暴騰

住民は恐慌

鈴木商店にては七月頃より出貨な東清沿線及びウスリー線の森林に派して大規模の買占めを行ひたるに[illegible]

▽競爭的に 買占めを行ひたる爲めるため燃料は俄然昂騰し前の三倍以上に暴騰したる爲め露人及び支那人は嚴寒期に於ける燃料問題は日本人の來りしの生活問題なるを以て何れも恐慌を惹起し滿洲里方面にては買占めを呪咀する者多しく評判を惡くしらざる

◎大龜斃死す

慶北浦項の漁業家は過般同地沖合に於て漁業中稀に見る大龜を捕獲したるが同漁業家は今秋開催の慶北共進會浦項水族館に出し公衆の觀覽に供すべく海岸の生簀に放飼しゐたるが數日前遂に斃死せしを以て止むなくこれを乾燥して水産館に陳列すべく目下手入中なり因に該龜は甲部には海藻及び貝殼附著し居れるものにて少くも三百年位のものなるべしと

◎兩女史

戰地へ

＝出征軍慰問の爲め派遣さる＝

日本基督教女子青年會にては西伯利出征軍慰問の爲め河合ミチ子、加藤タケ子の兩女史を派遣する事こなり兩女史は十一日午後九時東京發浦鹽に向へり（東京特電）

◎田中省三は

六個月

近く控訴せん

田中省三の瀆職事件公判は十一日東京地方裁判所にて懲役六箇月に處する旨言渡ありたるが同人は控訴する由なり（東京特電）

◎冠岳山登山

[illegible]司令部及び京畿道廳各部[illegible]に各新聞記者の有志は十三日[illegible]登山を試むる由

◎可愛らしい觀衆

[illegible]

兩校の運動會

▼日出小學校 [illegible]

[illegible]兩合[illegible]の好天氣、[illegible]く〳〵顏を初め早朝から[illegible]父兄達が行列をなして[illegible]て来る、正九時樂隊の[illegible]が出され[illegible]の間を流れて行く[illegible]尋常三四年男子の綱引きに初まりて競走、[illegible]競走、フットボール、決戰、スプーンレース、トンカン競走、一年男女の『目なご拍子の鳴りもやまない二年の女子ご先生全部の綱引は先生が大敗で大笑ひ、生徒は總立ちになつて『先生が敗た、先生が敗た』ご大喜び十二時美しい合同行進で畫食こなる、場の一端には篤志で池田醫院主が看護婦を引つれて救護所を設けてゐる、本校は上流階級の子弟が多く李堈公殿下が在學中なのでお附きの女官が來賓席の一隅から晴れ〳〵こして聲援して居るなご異彩を見せて居た

▼鍾路小學校 [illegible]

午前で失禮して午後から鍾路校に走る、運動場の狹いこは云はれないが場の四方に人の垣が築かれてある尋常二年の『花咲爺』が樂隊の奏樂につれて可愛らしいので觀衆を歡ばせて居る譯であつた、勇ましい騎馬戰、帽子取が濟むと高等二年女子の薙刀體操、尋六の木劍體操等今日の花であつたらう、みんな感心して居た、物乾競爭や運搬競走も目先の變つた面白いものであつた、卒業生の徒走、女生のスプーンレース等賑つて張り廻された萬國旗が夕風になびく四時整理競走で閉會こなつた

◎犯人逮捕慰勞宴

[illegible]殺し事件の關係深き山路警務局長に[illegible]外一般の關係[illegible]は木[illegible]事務官大野[illegible]分課長各警察署長及び司法主任各新聞通信記者三十餘名を招待し十二日午後六時より料亭白水に於て慰勞宴を催したり

◎猪群現はる

八月中旬以來九月末迄に[illegible]內山林に[illegible]被害約[illegible]百[illegible]畑地[illegible]作物を荒らしたる[illegible]猪の被害あり[illegible]

運動界

▼倭城對朝鮮 庭球戰 總督府對商銀庭球戰は十三日午前九時より倭城臺コートに於て開催の筈なるが襲に倭城軍優退一不戰組一を殘し大勝し居る事こて商銀方に取りては復讐戰なるを以て目醒ましき激戰を演ずるならむ

◎少年信使及配達人募集 京城郵便局にて少年信使及配達人の志願者を募集し居るが年齡は滿十三歲以上十六歲以下にて給料は内地人は月十五圓位鮮人は八圓位の由、此の信使なるものは局内集配取扱、室内に於て電報紙の配付を爲す事にして其中に前途有望のものは職務の暇々に教養を加へ一人前の職員さして採用する由目下[illegible]人何れに取りても一人前の職業が得るに早道且つ都合よき方法なりこ當局にては電話交換手も本月末に多數の採用を爲す由

學藝文藝（一等には五十錢の賞品券を呈す）

一口噺『時事』

◎病婦の夫『昨夜オレの婦にヤマイカガ』こ電報が來た』狼狽者へッそれは大變都野川に違ひない早く官憲に自首したがいゝよ』（一等）　水原南町面花閣里　川端生

▲『何故惡作でも米を下ないのだらう』拔作『下げるこ又買占められるからだ』　西鮮　逸民

▲三太『強盜殺人犯私野川は自働車で護送されたんださうな』與太『ハヽア—早く地獄に行きたいんだな』　仁川　花翁

○訂正　十一日夕刊所報「參謀本部からの命令で軍事探偵に云々の闘商殺しに關する堀氏の談話中都野川こ一緖に合飲したるこご及び南署出頭の條は誤聞に付訂正す

△正誤　九日朝刊二面廣告欄仁川稅關物品拂下廣告中第七號中貫ごあるは鍾の誤りに付訂正す

滿員御禮　又々大好評

長田幹彥先生大傑作

續金色夜叉

全六卷　二百八場

生血を吐くが如き愛と怨との傳き運命に泣くお宮貫一の行末や如何全篇淚の結晶

御禮として普通料金

大正館

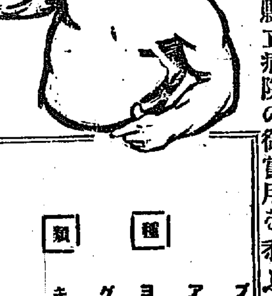
刊新最

朝鮮總督府鑛務課御調査（定價金八十錢）（郵稅金四錢）

最新　朝鮮地質鑛産圖

◆縱二尺四寸〇横一尺四寸〇七色刷〇印刷鮮明〇校正嚴密〇里程表記載◆

發賣　京城日報代理部



正き補血強壯増進劑

ブルトーゼを召せ!!

國産フエラトーゼとして帝國醫科大學病院及び各府縣立病院の御賞用を添ふす

種	類
ブルトーゼ	補血強壯增進劑
アルゼンブルトーゼ	神經性疾患特効劑
ヨードブルトーゼ	徽毒性疾患特効劑
グワヤコールブルトーゼ	
キナ	

說明書進呈

一瓶容量　二五〇瓦入　約半ヶ月分

各地信用ある藥店にあり

發賣元　大阪道修町　藤澤商店　東京本町

齒磨の良いのを撰ぶと共に、齒刷子の吟味が大切！

すなはち

最も良きは

齒科醫學上の模範齒磨たる

ライオン齒磨

口腔衞生學上の原理に基いて作れる

完全消毒

『萬歲』齒刷子

（小林商店）

妻の心　百十九

十九の二　小林蹴月作　武内桂舟畫

『奥様、俊やで御座います。まあ、お怡び遊ばせ、嘶くの思ひで、旦那様にお目に寛る事が出來ました。から、お怡び遊ばせ。』

俊やは、自身でも云ふ通り、今は此の町川家の召使ひでも何でもないのであるが、只〃稚い頃から手鹽にかけた禮子の境遇か氣の毒さに、それこそ一生懸命粉骨碎身的に禮子の爲めに盡さうと爲てるのである。

一目狂ひかけた禮子の光眼は、俊やの顏を見ると同時に稍元循の程度に減じた。それは、勿論然うあるべき筈なのである。

『然う、お前旦那様にお目に寛る事が出來たの。妾、本統に嬉しいらない内は、お前の云ふ事も誰の云ふ事も肯きません。妾は……妾は現在、妾を生み育て、下すッた阿母さまの云ふ事だつて、良人の不利益になる事なら、否を嚙んだつて肯かないぢやありませんか。早く……早く一目でも好いから旦那様のお在になる所が分つたなら、妾を其處へ連れて行つて下さい。さもないと、旦那様は必ずお前との約束なんか忘れてお了ひになつて、駒子さんの許かお芳さんの所へ行つてお了ひになるに違ひありません。俊や、後生だから早く……。』と禮子は、精神の狂ひとは云ひながら、絲のやうに痩せ細つた身體を無理に悶ねて、

に手を持たせながら起ち上らうと焦つたが、素より自由に起ち得らるべき道理がなかつた。『あッ、殘念だね』と云ひざま、よろ〳〵ッと兩足が同時に震へて、禮子はばたり蒲團に倒れた。

『まッ、お危いと申しますに。然うして貴女、その様なお身體で、根岸はおろか、お玄關までだつて、お拾ひになる事が出來ますもんで御座いますか。俊やは必ず嘘は申しませんから、暫時の間お鎭まりになつてお休遊ばして下さい。』

俊やは、久三郎からの内意でもあり旁々什麼にかして、禮子の錯亂した心を取鎭めようと努めた。けれども結果は却つて反對なのである。禱の上に打倒れた禮子は、眼を瞋らし、火のような熱い息を吐きつゝ、蠟細工のやうな白い指で手に虚空を摑んで『苦しい……ゝ殘念だ』と呻きつゞける。

これを視て居る俊やは、自分も共に氣が取逆上せるばかり、やきもきと氣を揉で心配するのであつた。

ねね。そんなら早くお遇はせして下されよ。』

『そのやうな俊仰らまでも御座いません。只今直にお後からお越しになる約束で御座います。』

その『お後から』の一言が、又も禮子の平靜を失つた頭腦には、甚る不滿足に感じられたらしい。

『なに、お後から入ッしやるんだつて？俊や、お前は乾度又旦那様から欺されて居るんだわ。何故お目に寛つた所から直に、お伴れ申して來ては呉れなかつたの。』

『でも與様、他様の手前も御座いますし、殊に大旦那様のお耳へ綱を付けて引つ張つて參る譯にはゆきませんでは御座いませんか。大丈夫十分とは經たない内に、乾度お歸宅遊ばしますから……あの奥様、失禮な事申すやうで御座いますけれども、少しお精神を落付けて遊ばして、俊やの申す事をお聞遊ばして下さいまし。』

『厭です。お前が何とお云ひでも旦那様が妾の側へ歸つてお在にな

が、久三郎の姿はまだ見えない。『旦那様のこつて御座いますから乾度自動車でお歸宅遊ばすに違ひありませんが……それにしては、もう……それでも若しや奥様の被仰る通り妾との約束はお忘れになつて、駒子さんかお芳さんの方へでもお外れてなつたのではあるまいか知ら……。』心配し出ては際涯もないが、久三郎の見え方が少しく豫測の時間と違つて來たので、お俊はお俊で右つ左つである。

と、思ひがけなくも、玄關の方に當つて、遽に人の噂り立つるやうな聲が起つた。或は旦那様かも知らんと、お俊は、充分の期待を有ちながら、聞き耳立つて、少時容子を窺つて見ると、全然違つた事件の勃發らしい。

◎肥る　には好きなものを　▽適度に　▽食べる

男でも女でも自分が痩せてると思ふと餘り好い氣持はしません。然し痩せてるからとて必ずしも身體が弱いと云ふのではなく、肥て居たとて身體が丈夫とは限りません、それを痩せてるからと云つて無暗に心配し身體に何の

◇異狀も　無いのに滋養分を食ねばならぬやうに騒ぐのは甚だ意を得ない事です、只餘り痩せて居て身體が虚弱であれば此の方々は肥滿をする爲めに滋養分を食るのが宜しいと思ふ即ち直接身體を肥滿させるものは脂肪又は含水炭素を多量に含んでる食物を攝取する事です、脂肪又は含水炭素を多量に含んでる食物を擧げて見れば牛豚肉、並に鷄肉

◇野鳥の　肉などが夫ですし又バタとかクリームとか、卵の黄味とか又魚類の肉などは最も適當であります、是等の食物に含まれてる滋養物は身體の組織に必要な部分だけは直取れますが其餘分のものは脂肪であると身體の中に沈んで、段々と肥る事になるのです此の肥りたい時に注意する事は何でも肥りたいばかりに無暗矢鱈と食たつて何にもなりません又肥りたい爲めに

◇食べる　物の中でも滋養分の少いものを例へば野菜や果物のやうなものは食ると直滿腹を感じて其割合に肥滿の材料になりませんから何の効果もありません、又嫌ひなものは幾ら自分が肥りたいからと云つても食る必要はないのです、何故と云ふに自分が嫌ひと思ふものを食た時は

◇胃液が　普通の好きな物を消化させるやうに多量の分泌をしません、從つて消化力が鈍いからであります、以上の道理に依つて肥り度い人は自分の身體に適應したもの、中で一番脂肪の多いものを澤山に食る事と、夫から筋肉の新陳代謝を促す爲に十分の運動をする事を忘れてはならぬのです

『髮の手入』

秋は髮の毛が拔替はる時ですから注意する方のある方は、注意するの効能が能く見はます頭の髮を充分發育させ美しくするには一週に二回を適度として炭酸アンモニア一匙と三倍の雨水とを合せたのを頭に塗付け手で泡の立つまで摩擦します此方法は禿げた處にも利目があります但し早く効能が現はれる様にと度々行ふと却つて宜しくありません赤毛を黑くするには髮洗する時桐の葉を煎じた湯で洗ひます而して後を清水で濯ぎ髮の根に純粹の胡驢油を塗りなさい信用を重んじる化粧油製造所の油か又は香は悪くも食用の品を求めれば安全じ御座います具々も申しますが混合物のある胡驢油は髮の敵で御座います又矢張り今注意すべき事ですが

◇束髮は經濟髮　と云ふ位で自分で結へるのが便利な點です然るに態々髮結に頼んで而も硬い重い入毛をする婦人が澤山ありますが此の入毛は逆上性の婦人には頭痛を起し髮の根の力を失はせ且つ長い髮を短く切つて了ひますから入毛は柔かい輕いのを選ぶ必要があります何れかと申せば多少形は悪いかも知れませんが入毛は可成用ひない方が髮の爲めに善いのです

口雁

五の日十の日會

○ま空の雁も雨に濡れるうつ縫ける　碧梗

○雁の原が明けまして旅人　芹郎

○お前が鈴ふ日中の雁が　眞三

雁さく〳〵夜の土塀がふさはしく

○毎夜の囚人に聖書がわかり出して　眞敏

○日暮の雁上を飛んで戸口の人　鳥堂

雁首太につゞき飛び立ちしかな　一聲

——十月十日

讀者の領分

[illegible]

新刊紹介（到着順）

[illegible]

ランプ　硝子器　電氣傘　商　京城本町二丁目　卸　長門屋　橋本硝子店　電話一三二一番　振替一七七三番

毛髮の營養に富み日本に冠たる……世界的パール煉香油として内外の需要頗る旺盛なり

パール　煉香油　パール　ポマード　パール　椿香油

化粧化學を應用し絕對的黑色養毛に適し實に遺憾なき……現代理想の——椿香油なり

代理店　大阪　平尾レート　東京　平尾パール　本舗

タンセキに不思議な効ある　呼吸器散　呼吸器丸

本劑の特長　本劑は最新醫藥の特効藥を配伍せる祛痰鎭咳の特効藥にして如何に重き患者にても服用せば忽ちタンセキ去り、セキを鎭め咳嗽苦しきを救ふ。

かゝる時に服用すれば効能あり

本舗　藤井平商會藥房

京城龍山各地に特約店　あり

百圓圖書　あり　有田ドラッグ商會

京城南大門外停車場通　大阪有田ドラッグ商會朝鮮本部

京城黃金町三丁目（全支店）　龍山漢江通（全支店）　釜山大廳町二丁目（全支店）　元山本町三丁目（全支店）　平壤櫻町十二番地（全支店）　仁川宮町二丁目（全支店）

◎朝鮮のにせ物　京城、龍山、仁川等各地ににせドラッグあり購着せられざる様御注意をこふ

請ふ藥舗化藥店販賣を許　全國到る所の都市朝鮮滿洲南清台灣等に支店あり

東京日本橋通四

老衰と奮鬪した吾輩の經驗

諸君は余の風貌を見て、余が如何ばかり壯健にして、如何ばかり愉快に活動しつゝあるかを推知するに足るであらう。然り、余は頗る壯健である。當年八十六歲の老體でありながら。髭鬚は二十貫を越え、血色は青春の如く鮮かに、頭腦は明晰なる活動を誇りとしてゐる。余が斯の如く老体であり乍ら斯の如く壯健にして愉快なる活動を爲すを得るは何が故であらう。それは余が青年時代より藥用人參の服用を怠らなかつたが爲めに外ならぬ。

學者は科學的に人參の効果を證明す

藥用朝鮮人參は古來不老長壽の靈藥として重用されてゐたのであるが、明治維新後洋醫學派の勢が流行的に高潮し、漢藥を口にする者は舊思想者として冷笑さるゝ様になつたので、効能顯に優れたる藥用人參も、之等流行的思想に誤られて一時世上より忘らるゝに至つたのである。然るに最近米人ラフィネスク氏を嚆矢とし多くの學者の科學的研究が行はるゝに至つて之等學者によつて其効果を科學的に立證さるゝ様になつたので近來再び人參濫用の聲が喧しくなつたのである。

不良人參と純良人參の撰擇を誤る勿れ

各學者の報告に依れば、各地に産する人參の内、朝鮮開城産のものが最も優れて居り、之の右に出づるものはないと言はれるが、開城産人參の純良なるは頗る高價であつて、従つて本品用候の如きは一本三千圓を投じて購入したと言ふ程であるから、市場多くの人參製劑は僅かに他地産の不良人參を混入しつゝある者が勘くない。星製藥株式會社の發賣に係る**ホシ人參製劑**は朝鮮總督府顧問三宅博士が本場開城産の逸品中より更に優良なるもののみを撰擇し、絕對に他地産のものを混入せずして化學的に精製したものであるから、數ある人參製劑中最も優秀卓越せるものである。而してホシ人參製劑は精力を盛んにし、腦力を強め、血行を良し、

神經衰弱、ヒステリー、精力減退、貧血、肺病、目暈、リウマチス、子宮病、神經痛、營養不良、老衰、陰萎、腎臟炎、

等に用ゐて最も卓抜なる効能を有す。殊に血液の循環をよくするが故に常に血液を清淨に、色白く生々とした顏色となし、記臆力を強め体量を增加する。

種類	
ホシ人參丸	五十錢　一圓　二圓
ホシ人參錠	五十錢　一圓
ホシ人參末	五十錢　一圓三圓五圓
ホシ人參流動エキス	五十錢　一圓三圓五圓
ホシ朝鮮人參（生）	一圓　二圓　五圓
効能は何れも同じ	

ホシ人參製劑

東京京橋南傳馬町　星製藥株式會社　電話京橋一七八五　振替東京二〇五二

大阪商船出帆

（仁川出帆）　大連行　安東丸　十月廿四日　後六時出

×信濃川丸　十月廿五日正午出

（元山出帆）　浦潮行　安平丸　十月廿六日後十二時

釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　安平丸　十月廿二日　後九時出

（大連出帆）　上海、芝罘行　基隆丸　十月十九日前六時出　北陸丸　十月卅一日後六時出

內地各地出帆主要航路

歐洲行　一年四回　北米行　毎月一回　南洋行　毎月一回　濠洲行　毎月一回

御注意　[illegible]

尼崎汽船出帆

大阪直行　赤城丸　十月　十日後四時出

群山、木浦、下ノ關、大阪行　大有丸　十月　日後四時出

群山木浦下ノ關大阪行　君が代丸　　日後四時出

仁川港埠頭三丁目（電話五九番）　高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行　大阪發　城津　平安丸　十月廿八日　元山發

平安丸　十月廿五日　元山發

▲浦汐行　大阪發　門司　平壤丸　十月廿七日　釜山、元山發

▲雄基行　關門、釜山、各港經由　雄基丸　十月廿二日　釜山發

×山陽丸　十月廿六日　元山發

雄基丸　十月廿一日　元山發

▲元山雄基線　元山起點各港經由雄基　雄基丸　十月十七日　元山發

▲金剛山遊覽便　元山發　穩城丸　十月十七日　元山發

▲濟州島行　釜山發　[illegible]

▲濟州島行　木浦發　[illegible]

▲木浦發水線　釜山行　順天丸　十月十九日　木浦發

▲多島海行　木浦發　公州丸　十月廿一日　木浦發

▲木浦行　全州丸　十月廿二日　仁川發

▲海州行　仁川發　鎭南浦行　普州丸　十月廿四日　仁川發

▲大連、青島行　仁川發　江原丸　十月十六日　仁川發

◎朝鮮鐵道及託外埠ト荷客連絡ノ便アリ

本社　京城南大門通　（電話長一九五一）

釜山佐藤町　元山海岸通　仁川海代理店　木浦代理店　京城大野回漕店

北他各寄港地ニ旅客取扱店アリ